

原子力発電所の環境放射能測定結果（平成 25 年度第 3 四半期）について

(案)

平成 26 年 2 月 6 日

東京電力(株)福島第一原子力発電所

東京電力(株)福島第二原子力発電所

東京電力(株)福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所が、平成 25 年度第 3 四半期(10～12 月)に実施した原子力発電所周辺の環境放射能測定結果は以下に示すとおりであり、福島第一原子力発電所の事故による影響を受けた空間線量率や環境試料については、事故前の測定値の範囲を上回っておりますが、日数の経過とともに減少する傾向にありました。

1 空間放射線

(1) 空間線量率

福島第一原子力発電所が 8 地点及び福島第二原子力発電所が 7 地点でモニタリングポスト(電離箱検出器または NaI シンチレーション検出器)により発電所敷地境界付近の空間線量率を常時測定しました。

各測定地点の月間平均値の範囲は $0.295 \mu\text{Gy/h}$ (福島第二原子力発電所南側の MP 7)～ $5.341 \mu\text{Gy/h}$ (福島第一原子力発電所北側の MP 3)、最大値の範囲は $0.314 \mu\text{Gy/h}$ (福島第二原子力発電所南側の MP 7)～ $5.668 \mu\text{Gy/h}$ (福島第一原子力発電所北側の MP 3)であり、共に全ての地点で震災前の過去の測定値の範囲を大きく上回っており、各月毎の測定値に変動はみられたが、期の経過とともに減少する傾向にありました。

※ Gy (グレイ) \doteq Sv (シーベルト)

(2) 空間積算線量

福島第一原子力発電所が 21 地点及び福島第二原子力発電所が 18 地点で蛍光ガラス線量計により発電所敷地境界付近及び発電所周辺の近隣町の空間積算線量を測定しました。

90 日換算値は 0.46mGy (福島第二原子力発電所南側の MP 7)～ 42.37mGy (福島第一原子力発電所南側の MP 8)であり、全ての地点で震災前の過去の測定値の範囲を大きく上回りましたが、期の経過とともに減少する傾向にありました。

2 環境試料

(1) 大気浮遊じん

福島第二原子力発電所がダストモニタにより発電所の南北敷地境界付近の 2 地点 (MP 1 及び MP 7) で全アルファ放射能及び全ベータ放射能の連続測定を実施しました。

各測定地点の全アルファ放射能及び全ベータ放射能の月間平均値は、全アルファ放射能が $0.011\text{Bq}/\text{m}^3$ (MP-1, 7・12月) $\sim 0.017\text{Bq}/\text{m}^3$ (MP-1, 7・11月) で、全ベータ放射能が、 $0.025\text{Bq}/\text{m}^3$ (MP-1, 7・12月) $\sim 0.034\text{Bq}/\text{m}^3$ (MP-1・11月) で共に震災前の過去の測定値と同程度でした。

また、各測定地点の全アルファ放射能及び全ベータ放射能の月間最大値は、全アルファ放射能が $0.041\text{Bq}/\text{m}^3$ (MP-1・12月) $\sim 0.068\text{Bq}/\text{m}^3$ (MP-1・11月) で、全ベータ放射能が $0.067\text{Bq}/\text{m}^3$ (MP-1・12月) $\sim 0.11\text{Bq}/\text{m}^3$ (MP-1・11月) であり、共に震災前の過去の測定値と同程度でした。

(2) 核種濃度 (ガンマ線放出核種)

大気浮遊じん、陸土、海水、海底沈積物、指標植物 (松葉) について、福島第一原子力発電所で 17 試料、福島第二原子力発電所で 17 試料の調査を実施しました。

大気浮遊じん、陸土、海水、海底沈積物、指標植物 (松葉) のすべての試料から、震災前の過去の測定値を上回るセシウム-134 及びセシウム-137 が検出されました。

(3) 核種濃度 (トリチウム)

福島第一原子力発電所の 3 試料及び福島第二原子力発電所の 3 試料の海水について、調査を実施しました。

福島第一原子力発電所の海水 3 試料のうち 2 試料からトリチウムが検出されており、震災前の過去の測定値の範囲を大きく上回りました。

(4) 核種濃度 (ストロンチウム-89,90, プルトニウム-238,239+240, アメリシウム-241, キュリウム-244)

平成 25 年度第 2 四半期に採取を行った福島第一原子力発電所の陸土 4 試料、福島第二原子力発電所の陸土 4 試料について、調査を実施しました。

a. ストロンチウム-89,90

福島第一原子力発電所周辺の全ての試料からストロンチウム-90 が検出されており、震災前の過去の測定値を大きく上回りました。

福島第二原子力発電所周辺においても、全ての試料からもストロンチウム-90 が検出されており、うち 2 試料で震災前の過去の測定値を上回りました。

なお、ストロンチウム-89 については、福島第一原子力発電所周辺及び福島第二原子力発電所周辺の全ての試料で検出されませんでした。

b. プルトニウム-238,239+240

福島第一原子力発電所周辺の全ての試料からプルトニウム-239+240 が検出されており、うち 1 試料からはプルトニウム-238 が検出されました。

プルトニウム-239+240 については、震災前の過去の測定値*1 と同程度でしたが、プ

プルトニウム-238は震災前の過去の測定値^{※1}を上回りました。

福島第二原子力発電所周辺においても、全ての試料からプルトニウム-239+240が検出されましたが、震災前の過去の測定値^{※1}と同程度でした。

なお、プルトニウム-238については、福島第二原子力発電所周辺の全ての試料で検出されませんでした。

※1 「過去の測定値」は、当社におけるプルトニウムの測定実績が無いため、自治体における福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所周辺地域の測定結果と比較したものである。

参考：プルトニウム-238 ND～0.03 Bq/kg 乾

プルトニウム-239+240 ND～0.44 Bq/kg 乾

c. アメリシウム-241, キュリウム-244

福島第一原子力発電所周辺の全ての試料からアメリシウム-241が検出されており、うち1試料からはキュリウム-244が検出されました。

アメリシウム-241については、震災前の測定値^{※2}と同程度でしたが、キュリウム-244は震災前の過去の測定値（検出限界値未満）を上回りました。

福島第二原子力発電所周辺においても、全ての試料からアメリシウム-241が検出されておりますが、震災前の測定値^{※2}と同程度でした。

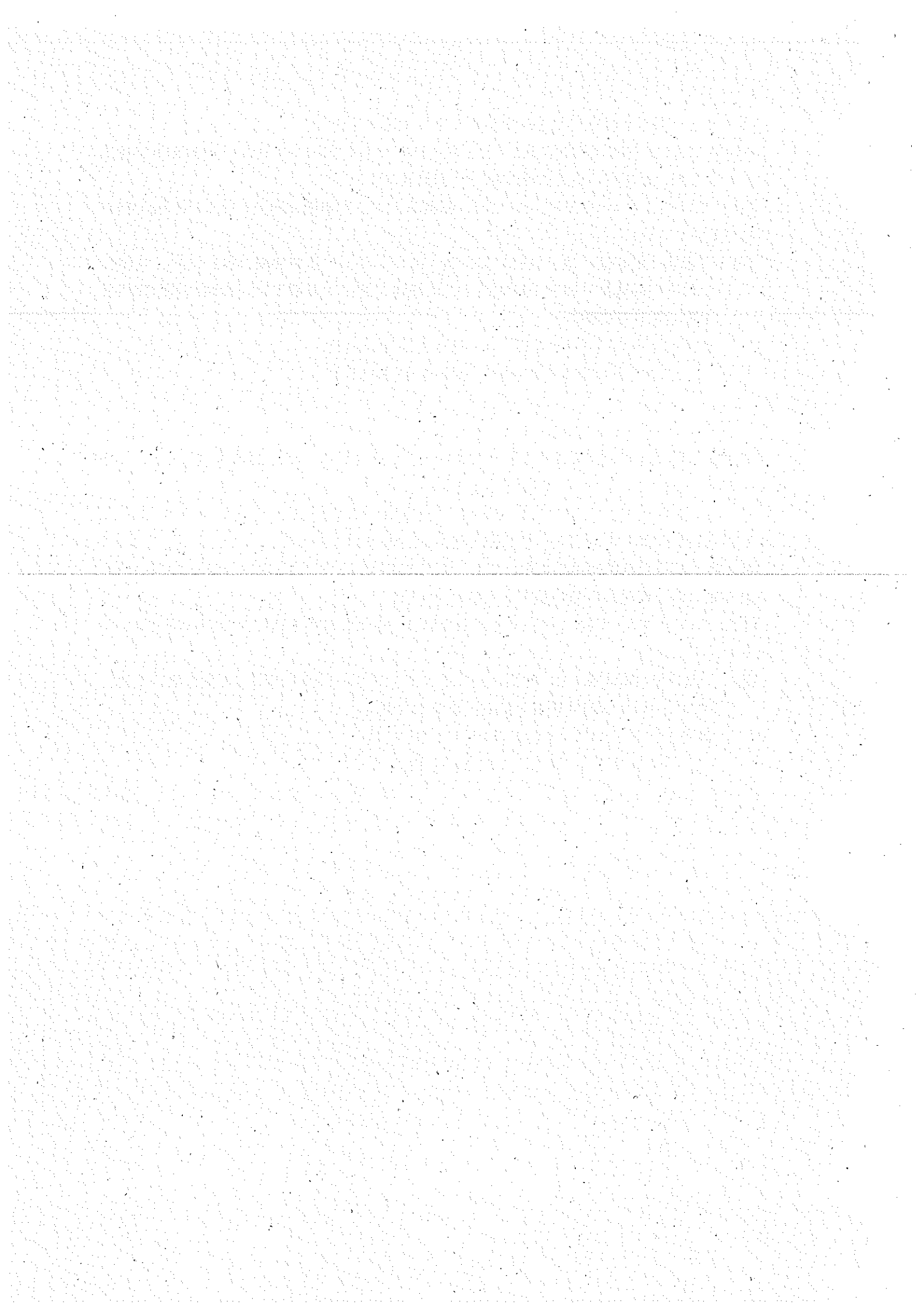
なお、キュリウム-244については、福島第二原子力発電所周辺の全ての試料で検出されませんでした。

※2 「震災前の測定値」は、当社におけるアメリシウム-241の測定実績が無いため、国内における放射能調査と比較したものである。

参考：アメリシウム-241 ND～1.1 Bq/kg 乾

キュリウム-244 ND Bq/kg 乾

以上



原子力発電所の環境放射能測定結果

(平成25年度 第3四半期)

(案)

東京電力株式会社

福島第一原子力発電所

福島第二原子力発電所

目 次

今期間の測定結果の概要

1. 空間放射線	
(1) 空間線量率	1
(2) 空間積算線量	2
2. 環境試料	
(1) 大気浮遊じん	3
(2) 環境試料の核種濃度 (ガンマ線放出核種及びトリチウム)	4

福島第一原子力発電所

1 測定項目	8
2 測定方法	10
3 測定結果	11
(1) 空間放射線	11
(2) 環境試料	13

福島第二原子力発電所

1 測定項目	15
2 測定方法	18
3 測定結果	19
(1) 空間放射線	19
(2) 環境試料	21

添付資料

原子炉運転状況、放射性廃棄物管理状況及び試料採取時の付帯データ	23
福島第一原子力発電所	
原子炉運転状況	24
放射性廃棄物管理状況	25
試料採取時の付帯データ	28
福島第二原子力発電所	
原子炉運転状況	31
放射性廃棄物管理状況	32
試料採取時の付帯データ	34
空間線量率の変動グラフ	37

今期間の測定結果の概要

1. 空間放射線

(1) 空間線量率

東京電力(株)福島第一原子力発電所敷地境界8地点、福島第二原子力発電所敷地境界7地点で平成25年10月から12月に測定した空間線量率の結果は以下の通りであり、過去の測定値を大きく上回る値が観測された。

各地点の測定結果は以下のとおりである。

ア. 月間平均値

各測定地点の月間平均値は、全ての地点において震災前の過去の月間平均値を大きく上回る値が観測された。

なお、各地点の測定値は、日数の経過とともに減少する傾向にあった。

空間線量率の月間平均値

(単位：nGy/h)

機関名		測定地点	月間平均値			過去の月間平均値 上：震災前 下：震災後
			10月	11月	12月	
東京電力(株)	福島第一原子力発電所	8	2,620 ~ 5,319	2,654 ~ 5,341	2,601 ~ 5,281	31 ~ 45 2,576 ~ 204,134
	福島第二原子力発電所	7	295 ~ 826	306 ~ 827	303 ~ 831	37 ~ 49 359 ~ 13,695

(注) 1. 「過去の測定値の範囲」は、
震災前：平成13年度から平成22年度第4四半期(平成23年3月10日)まで。
震災後：平成22年度第4四半期(平成23年3月11日)から平成24年度第4四半期まで。

イ. 1時間値の変動状況

各測定地点の月間最大値は、全ての地点において震災前の過去の月間最大値を大きく上回る値が観測された。

空間線量率の最大値(1時間値)

(単位：nGy/h)

機関名		測定地点	月間最大値			過去の月間最大値 上：震災前 下：震災後
			10月	11月	12月	
東京電力(株)	福島第一原子力発電所	8	2,728 ~ 5,668	2,710 ~ 5,476	2,665 ~ 5,446	120 ~ 188 2,768 ~ 327,467
	福島第二原子力発電所	7	314 ~ 881	316 ~ 845	322 ~ 857	79 ~ 162 377 ~ 182,000

(注) 1. 「過去の測定値の範囲」は、
震災前：平成13年度から平成22年度第4四半期(平成23年3月10日)まで。
震災後：平成22年度第4四半期(平成23年3月11日)から平成24年度第4四半期まで。

(2) 空間積算線量

今期間は、平成25年10月9日から平成26年1月16日までの99日間で、福島第一原子力発電所21地点、福島第二原子力発電所18地点で蛍光ガラス線量計により空気中の放射線量を測定した。90日換算値は、全ての地点において過去の最大値を大きく上回る値が観測された。

なお、震災以降は、期の経過とともに減少傾向にあった。

空間積算線量の90日換算値

単位：(mGy/90日)

機関名		測定地点	測定期間	過去の測定値 上：震災前 下：震災後
			H25.10.9 ~ H26.1.16 積算線量	
東京電力(株)	福島第一原子力発電所	21	0.47 ~ 42.37	0.10 ~ 0.16
				3.36 ~ 312.25
	福島第二原子力発電所	18	0.46 ~ 3.55	0.11 ~ 0.15
				0.56 ~ 12.15

(注) 1. 平成15年度より測定装置を蛍光ガラス線量計に変更したため、過去の測定値は、震災前は平成15年度から平成22年度第3四半期まで、震災後は平成22年度第4四半期から平成24年度第4四半期まで。

2 環境試料

(1) 大気浮遊じん

福島第二原子力発電所のダストモニタ（2地点）は、東日本大震災による津波で流失したため、平成24年度より測定器を更新して、大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能の連続測定を実施した。

各地点の測定値は、以下のとおりである。

福島第一原子力発電所については、東日本大震災による原子力災害の影響により全て欠測となった。

ア. 月間平均値

福島第二原子力発電所の月間平均値は、過去の月間平均値の範囲と同程度であった。

大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能の月間平均値

(単位：Bq/m³)

機関名	項目	測定地点	平均値			過去の月間平均値 上：震災前 下：震災後
			10月	11月	12月	
福島第二 原子力発電所	全アルファ放射能	2	0.012	0.017	0.011	0.005～0.030
						0.008～0.035
	全ベータ放射能	2	0.027	0.033～0.034	0.025	0.019～0.058
						0.023～0.061

(注) 「過去の測定値の範囲」は、

震災前：平成13年9月から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

震災後：機器更新後の平成24年度。

イ. 変動状況

福島第二原子力発電所の各地点の最大値は、過去の最大値と同程度でした。

大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能の最大値

(単位：Bq/m³)

機関名	項目	測定地点	最大値			過去の最大値 上：震災前 下：震災後
			10月	11月	12月	
福島第二 原子力発電所	全アルファ放射能	2	0.050～0.060	0.059～0.068	0.041～0.047	0.20
						0.23
	全ベータ放射能	2	0.082～0.089	0.091～0.11	0.067～0.075	0.29
						0.17

(注) 「過去の測定値の範囲」は、

震災前：平成13年9月から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

震災後：機器更新後の平成24年度。

(2) 環境試料の核種濃度

福島第一原子力発電所が今期間に測定した環境試料は、大気浮遊じん6、陸土4、海水3、海底沈積物2、松葉2の5品目で合計17試料、福島第二原子力発電所が測定した環境試料は、大気浮遊じん6、陸土4、海水3、海底沈積物2、松葉2の4品目で合計17試料であった。

福島第一原子力発電所測定分の環境試料の全てにおいて、セシウム-134、セシウム-137が、検出された。

また、海水のトリチウム、陸土のストロンチウム-90、プルトニウム-238、プルトニウム-239+240、アメリカシウム-241、キュリウム-244についても検出された。

なお、ストロンチウム-89、プルトニウム-238、プルトニウム-239+240、アメリカシウム-241、キュリウム-244については、今年度より測定を実施した。

「福島第一原子力発電所測定分」 環境試料中のガンマ線放出核種濃度

試料名	試料数	ガンマ線放出核種	単位	測定値	過去の測定値 上：震災前 下：震災後
大気浮遊じん	6	134Cs	mBq/m ³	5.8 ~ 88	ND 1.7 ~ 71
		137Cs		13 ~ 200	ND 2.6 ~ 130
陸土	4	134Cs	Bq/kg湿	2,300 ~ 130,000	ND 1,400 ~ 170,000
		137Cs		5,700 ~ 310,000	2.4 ~ 28 2,600 ~ 260,000
海水	3	134Cs	Bq/l	0.20 ~ 4.8	ND ND ~ 76
		137Cs		0.51 ~ 9.7	ND ~ 0.003 ND ~ 110
海底沈積物	2	134Cs	Bq/kg湿	120	ND 200 ~ 1,200
		137Cs		280 ~ 290	ND ~ 1.2 400 ~ 1,800
松葉	2	134Cs	Bq/kg生	2,800 ~ 2,900	ND 890 ~ 220,000
		137Cs		6,200 ~ 7,000	ND ~ 0.14 1,600 ~ 310,000

- (注) 1. 「過去の測定値の範囲」は、
震災前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。
震災後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成24年度第4四半期まで。
2. NDは検出限界未満。
「ND～(数値)」とあるのは、検出限界未満の試料と検出限界を超えて検出された試料とがあることを示し、検出された試料の中での最大値を右側に表記した。
3. 「試料数」は採取した地点数の合計である。

「福島第一原子力発電所測定分」 環境試料中のトリチウム濃度

試料名	試料数	単位	測定値	過去の測定値 上：震災前 下：震災後
海水	3	Bq/l	ND ~ 54	ND ~ 0.67 ND ~ 180

- (注) 1. 「過去の測定値の範囲」は、
震災前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。
震災後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成24年度第4四半期まで。
2. NDは検出限界未満。
「ND～(数値)」とあるのは、検出限界未満の試料と検出限界を超えて検出された試料とがあることを示し、検出された試料の中での最大値を右側に表記した。
3. 「試料数」は採取した地点数の合計である。

「福島第一原子力発電所測定分」 環境試料中のストロンチウム濃度

試料名	試料数	核種	単位	測定値	過去の測定値 上：震災前 下：震災後
陸 土	4	⁸⁹ Sr	Bq/kg乾	ND	—
		⁹⁰ Sr		4.1 ~ 160	0.77 ~ 2.1

- (注) 1. 「過去の測定値の範囲」は、
震災前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。
震災後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成24年度第4四半期まで。

「福島第一原子力発電所測定分」 環境試料中のプルトニウム濃度

試料名	試料数	核種	単位	測定値	過去の測定値 上：震災前 下：震災後
陸 土	4	²³⁸ Pu	Bq/kg乾	ND ~ 0.11	—
		²³⁹⁺²⁴⁰ Pu		0.19 ~ 0.39	—

- (注) 1. 「過去の測定値の範囲」は、
震災前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。
震災後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成24年度第4四半期まで。

「福島第一原子力発電所測定分」 環境試料中のアメリシウム濃度

試料名	試料数	核種	単位	測定値	過去の測定値 上：震災前 下：震災後
陸 土	4	²⁴¹ Am	Bq/kg乾	0.45 ~ 1.2	—

- (注) 1. 「過去の測定値の範囲」は、
震災前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。
震災後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成24年度第4四半期まで。
3. 「試料数」は採取した地点数の合計である。

「福島第一原子力発電所測定分」 環境試料中のキュリウム濃度

試料名	試料数	核種	単位	測定値	過去の測定値 上：震災前 下：震災後
陸 土	4	²⁴⁴ Cm	Bq/kg乾	ND ~ 0.049	—

- (注) 1. 「過去の測定値の範囲」は、
震災前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。
震災後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成24年度第4四半期まで。

福島第二原子力発電所測定分の環境試料の全てにおいて、セシウム-134、セシウム-137が検出された。また、陸土のストロンチウム-90、プルトニウム-239+240、アメリシウム-241についても検出された。なお、陸土のストロンチウム-89、プルトニウム-238、プルトニウム-239+240、アメリシウム-241、キュリウム-244については、今年度より測定を実施した。

「福島第二原子力発電所測定分」 環境試料中のガンマ線放出核種濃度

試料名	試料数	ガンマ線放出核種	単位	測定値	過去の測定値 上：震災前 下：震災後
大気浮遊じん	6	Cs-134	mBq/m ³	0.010 ~ 0.024	ND ND ~ 0.75
		Cs-137		0.027 ~ 0.055	ND ND ~ 1.1
陸土	4	Cs-134	Bq/kg湿	490 ~ 2,900	ND 620 ~ 9,000
		Cs-137		1,200 ~ 7,100	1.1 ~ 15 900 ~ 15,000
海水	3	Cs-134	Bq/l	0.050 ~ 0.11	ND 0.16 ~ 0.36
		Cs-137		0.15 ~ 0.23	ND ~ 0.003 0.19 ~ 1.1
海底沈積物	2	Cs-134	Bq/kg湿	41 ~ 110	ND 62 ~ 200
		Cs-137		92 ~ 250	ND ~ 1.5 120 ~ 360
松葉	2	Cs-134	Bq/kg生	84 ~ 85	ND 320 ~ 17,160
		Cs-137		210 ~ 240	ND ~ 0.06 500 ~ 22,840

- (注) 1. 「過去の測定値の範囲」は、
震災前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。
震災後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成24年度第4四半期まで。
2. NDは検出限界未満。
「ND～（数値）」とあるのは、検出限界未満の試料と検出限界を超えて検出された試料とがあることを示し、検出された試料の中での最大値を右側に表記した。
3. 「試料数」は採取した地点数の合計である。

「福島第二原子力発電所測定分」 環境試料中のトリチウム濃度

試料名	試料数	単位	測定値	過去の測定値 上：震災前 下：震災後
海水	3	Bq/l	ND	ND ~ 0.77 —

- (注) 1. 「過去の測定値の範囲」は、
震災前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。
震災後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成24年度第4四半期まで。
震災後の平成24年度は欠測のため「—」。
2. NDは検出限界未満。
「ND～（数値）」とあるのは、検出限界未満の試料と検出限界を超えて検出された試料とがあることを示し、検出された試料の中での最大値を右側に表記した。
3. 「試料数」は採取した地点数の合計である。

「福島第二原子力発電所測定分」 環境試料中のストロンチウム濃度

試料名	試料数	核種	単位	測定値	過去の測定値 上：震災前 下：震災後
陸 土	4	⁸⁹ Sr	Bq/kg乾	ND	—
		⁹⁰ Sr		2.4 ~ 3.9	1.4 ~ 2.8

(注) 1. 「過去の測定値の範囲」は、
 震災前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。
 震災後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成24年度第4四半期まで。

「福島第二原子力発電所測定分」 環境試料中のプルトニウム濃度

試料名	試料数	核種	単位	測定値	過去の測定値 上：震災前 下：震災後
陸 土	4	²³⁸ Pu	Bq/kg乾	ND	—
		²³⁹⁺²⁴⁰ Pu		0.11 ~ 0.28	—

(注) 1. 「過去の測定値の範囲」は、
 震災前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。
 震災後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成24年度第4四半期まで。

「福島第二原子力発電所測定分」 環境試料中のアメリシウム濃度

試料名	試料数	核種	単位	測定値	過去の測定値 上：震災前 下：震災後
陸 土	4	²⁴¹ Am	Bq/kg乾	0.36 ~ 0.53	—

(注) 1. 「過去の測定値の範囲」は、
 震災前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。
 震災後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成24年度第4四半期まで。

「福島第二原子力発電所測定分」 環境試料中のキュリウム濃度

試料名	試料数	核種	単位	測定値	過去の測定値 上：震災前 下：震災後
陸 土	4	²⁴⁴ Cm	Bq/kg乾	ND	—

(注) 1. 「過去の測定値の範囲」は、
 震災前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。
 震災後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成24年度第4四半期まで。

福島第一原子力発電所測定分

(平成25年10月～平成25年12月)

1 測定項目

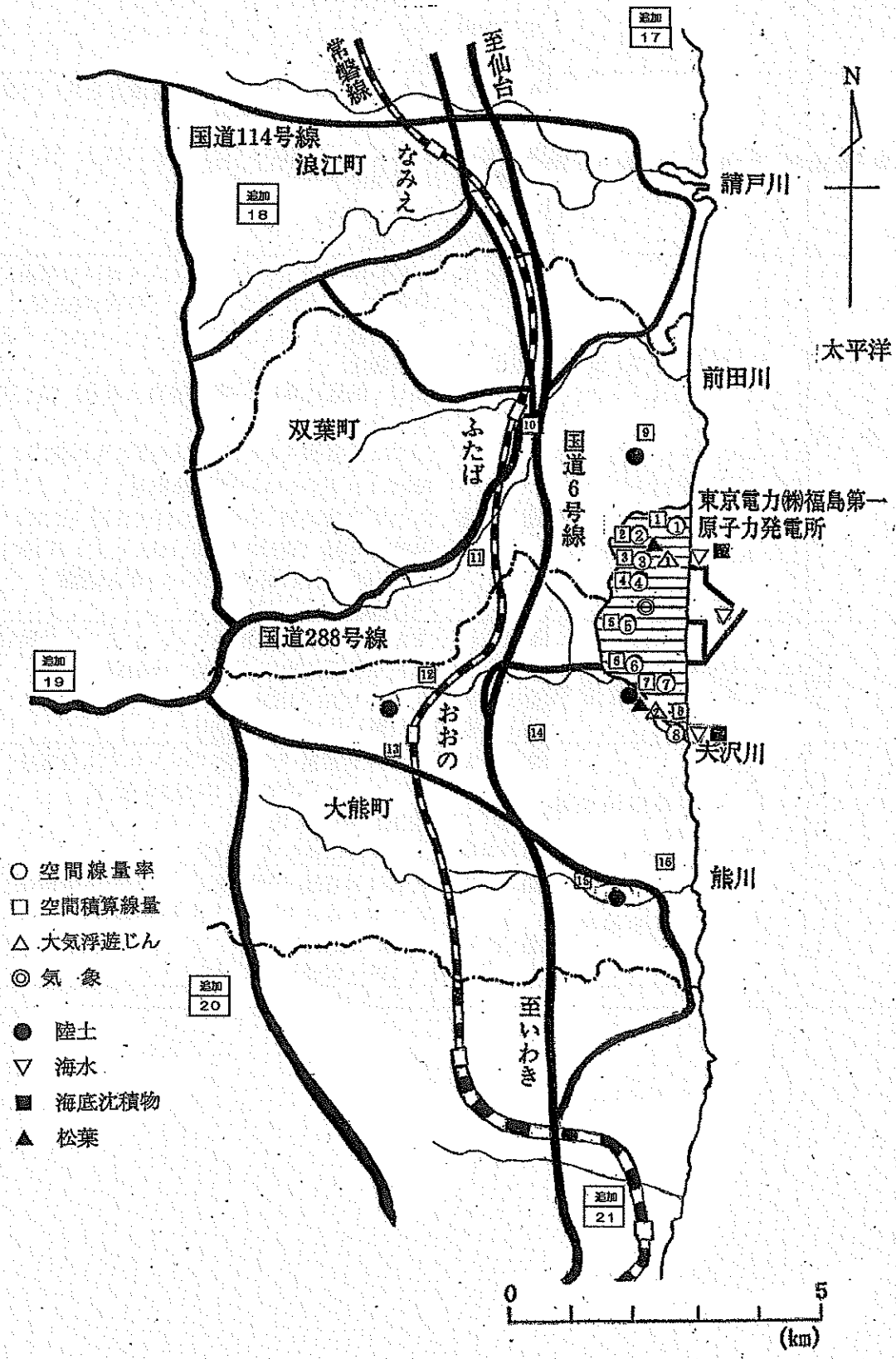
(1)空間放射線

項目	地点数	測定頻度	実施機関
空間線量率	8	連続	東京電力(株) 福島第一 原子力発電所
空間積算線量	21	3カ月積算	

(2)環境試料

区分	試料名	地点数	採取頻度	採取回数 (今期)	測定試料数				実施機関
					γ	^3H	^{89}Sr	^{90}Sr	
大気浮遊じん	大気浮遊じん	2	毎月	3	6				東京電力(株) 福島第一 原子力発電所
陸土	陸土	4	年2回	1	4				
海水	海水	3	年4回	1	3	3	3	3	
海底沈積物	海底沈積物	2	年2回 ただし放水口は年4回	1	2		2	2	
指標植物	松葉	2	年4回	1	2				

福島第一原子力発電所 環境モニタリング地点図



2 測定方法

測定項目		測定装置	測定方法
空間放射線	空間線量率	モニタリングポスト	検出器：アルゴンガス封入式球形電離箱 (高純度アルゴンガス4気圧140) 測定位置：地表上約1.6m 校正線源：Ra-226
	空間積算線量	蛍光ガラス線量計	測定法：文部科学省編「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線量測定法」(平成14年制定) 検出器：蛍光ガラス線量計, 旭テクノグラス SC-1 測定器：旭テクノグラス FGD-202 測定位置：地表上約1m 校正線源：Cs-137
環境試料	核種濃度	Ge半導体検出装置 ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置	測定法：文部科学省編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」(平成4年改訂) 大気浮遊じんは1カ月の集じんろ紙をU8容器に入れ測定 陸土・海底沈積物・指標植物(松葉)は, 生試料により測定。 海水は, 直接20マリネリ容器に入れ測定。 海水のトリチウムは蒸留後測定。 測定器：Ge半導体検出器(ORTEC GEM28-S型 他3台) 波高分析器(SEIKO EG&G 7600シリーズ(4096ch) 4台) ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置(Aloka LSC-LB5B)
	ストロンチウム-89 ストロンチウム-90濃度	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	測定法：文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」のうち発煙硝酸法(平成15年改訂) 測定器：Aloka LBC-4302B 第三者機関(株)化研にて分析
	プルトニウム-238 プルトニウム-239+240濃度	シリコン半導体検出器	測定法：文部科学省編「放射性プルトニウム分析法」のうちイオン交換法(平成2年改訂) 測定器：ORTEC Alpha Duo 第三者機関(株)化研にて分析
	アメリカシウム-241 キュリウム-244濃度	シリコン半導体検出器	測定法：文部科学省編「放射性アメリカシウム分析法」のうちイオン交換法(平成2年改訂) 測定器：ORTEC Alpha Duo 第三者機関(株)化研にて分析

3 測定結果

(1) 空間放射線

ア 空間線量率

測定年月	平成25年10月				平成25年11月				平成25年12月				
	空間線量率				空間線量率				空間線量率				
	測定値	平均値	最大値	測定時間	備考	平均値	最大値	測定時間	備考	平均値	最大値	測定時間	備考
No.	(nGy/h)	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/時間)	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/時間)	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/時間)
1	MP-1	2,620	2,728	744		2,685	2,752	716	点検/4時間	2,658	2,738	744	
2	MP-2	4,701	4,990	744		4,736	4,852	717	点検/3時間	4,665	4,800	744	
3	MP-3	5,319	5,668	744		5,341	5,476	717	点検/3時間	5,281	5,446	744	
4	MP-4	4,782	5,034	744		4,813	4,934	717	点検/3時間	4,798	4,948	744	
5	MP-5	4,951	5,341	744		5,059	5,206	720		5,001	5,166	744	
6	MP-6	2,665	2,791	744		2,654	2,710	720		2,601	2,665	744	
7	MP-7	2,919	3,045	744		2,845	2,891	720		2,736	2,820	741	点検/3時間
8	MP-8	3,058	3,139	744		3,065	3,088	717	点検/3時間	3,000	3,041	744	

注) 空間線量率の測定は高線量率モニタリングポストにより行いました。

イ 空間積算線量

測定期間		平成 25 年 10 月 9 日 ～ 平成 26 年 1 月 16 日		
No.	測定項目 地点名	積算線量 (mGy)	測定日数 (日)	備考
1	M P - 1	4.24 (3.85)	99	
2	M P - 2	7.77 (7.06)	99	
3	M P - 3	9.62 (8.75)	99	
4	M P - 4	5.20 (4.73)	99	
5	M P - 5	9.00 (8.19)	99	
6	M P - 6	6.92 (6.30)	99	
7	M P - 7	31.73 (28.85)	99	
8	M P - 8	46.54 (42.37)	99	
9	双葉町郡山壘の上	4.36 (3.97)	99	
10	双葉町長塚鬼木	2.87 (2.61)	99	
11	双葉町山田西郷内	6.50 (5.91)	99	
12	大熊町夫沢中台	46.02 (41.80)	99	
13	大熊町役場	9.28 (8.43)	99	
14	大熊町小入野東大和久	29.53 (26.84)	99	
15	大熊町熊川緑ヶ丘	26.10 (23.73)	99	
16	大熊町熊川久麻川	19.15 (17.41)	99	
17	浪江町北棚塩総合集会所	0.51 (0.47)	99	
18	浪江町川添中上ノ原	2.20 (2.00)	99	
19	大熊町野上湯の神	2.24 (2.03)	99	
20	富岡町新福島変電所	2.65 (2.41)	99	
21	富岡町東京電力西原寮	2.33 (2.12)	99	

(注) () 内は、90日換算値。

(2) 環境試料

ア 大気浮遊じん核種濃度

No.	地点名	採取期間	核種										濃度 (mBq/m ³)												
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce												
1	MP-3	H25.10.1 ~ H25.10.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND					
		H25.11.1 ~ H25.11.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
		H25.12.1 ~ H25.12.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
2	MP-8	H25.10.1 ~ H25.10.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H25.11.1 ~ H25.11.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H25.12.1 ~ H25.12.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

福島第二原子力発電所測定分

(平成25年10月～平成25年12月)

1 測定項目

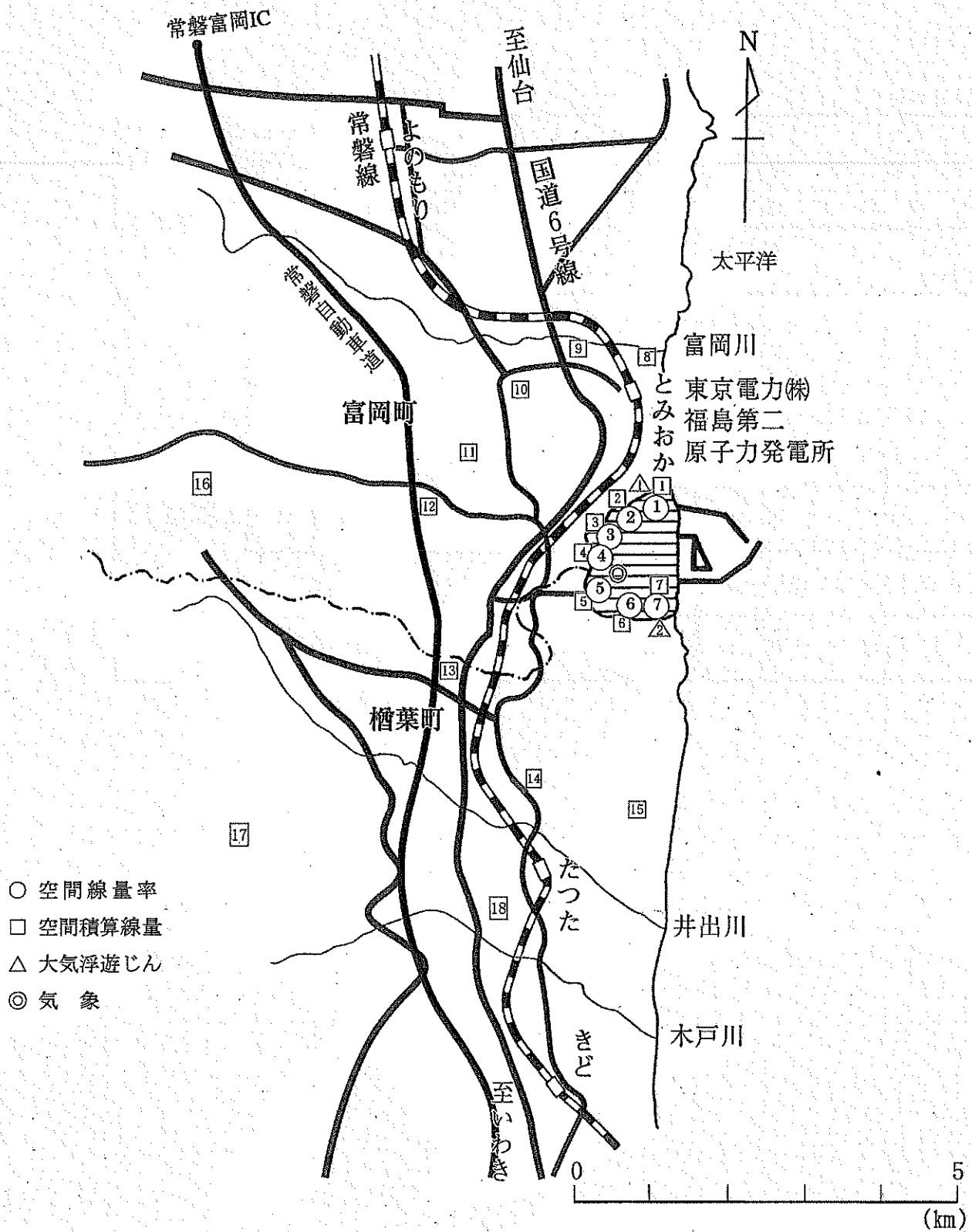
(1)空間放射線

項目	地点数	測定頻度	実施機関
空間線量率	7	連続	東京電力(株) 福島第二 原子力発電所
空間積算線量	18	3カ月積算	

(2)環境試料

区分	試料名	地点数	採取頻度	採取回数 (今期)	測定試料数				実施機関
					γ	^3H	^{89}Sr	^{90}Sr	
大気浮遊じん	大気浮遊じん	2	毎月	3	6				東京電力(株) 福島第二 原子力発電所
陸 土	陸 土	4	年2回	1	4				
海 水	海 水	3	年4回	1	3	3	3	3	
海底沈積物	海底沈積物	2	年4回	1	2				
指標植物	松 葉	2	年4回	1	2				

図-1 測定地点



2 測定方法

測定項目		測定装置	測定方法
空間放射線	空間線量率	モニタリングポスト	検出器：2"φ×2"NaI (Tl) シンチレーション検出器 (Alokaまたは富士電機、温度補償・エネルギー補償回路付) 測定位置：地表上約1.6m 校正線源：Ra-226
	空間積算線量	蛍光ガラス線量計	測定法：文部科学省編「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線量測定法」(平成14年制定) 検出器：蛍光ガラス線量計、旭テクノグラス SC-1 測定器：旭テクノグラス FGD-202 測定位置：地表上約1m 校正線源：Cs-137
環境試料	大気浮遊アルファ及びベータ放射能	ダストモニタ	測定法：6時間連続集じん、6時間放置後全アルファ及び全ベータ放射能を同時測定 集じん法：ろ紙ステップ式、使用ろ紙：HE-40T 吸引量：約90m ³ /6時間 検出器：ZnS (Ag) シンチレータとプラスチックシンチレータの はり合わせ検出器 (Aloka ADC-121R2) 採取位置：地表上約3m 校正線源：U ₃ O ₈
	核種濃度	Ge半導体検出装置 ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置	測定法：文部科学省編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」(平成4年改訂) 大気浮遊じんは、1ヶ月の集じんろ紙を全てU8容器に入れ測定。 陸土、海底沈積物、指標植物(松葉)は、生試料により測定。 指標植物(松葉)は、直接U8容器に入れ測定。 海水は、2Lを分取し2Lマリネリ容器で測定。 海水のトリチウムは蒸留後、バイアル瓶に入れ測定。 測定器：Ge半導体検出器 (ORTEC GEM28-S型 他3台) 波高分析器 (SEIKO EG&G 7600シリーズ (4096ch) 1台) ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置 (Aloka LSC-LB5B)
	ストロンチウム-89 ストロンチウム-90濃度	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	測定法：文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」のうち発煙硝酸法(平成15年改訂) 測定器：Aloka LBC-4302B 第三者機関(株)化研にて分析
	プルトニウム-238 プルトニウム-239+240濃度	シリコン半導体検出器	測定法：文部科学省編「放射性プルトニウム分析法」のうちイオン交換法(平成2年改訂) 測定器：ORTEC Alpha Duo 第三者機関(株)化研にて分析
	アメリカシウム-241 キュリウム-244濃度	シリコン半導体検出器	測定法：文部科学省編「放射性アメリカシウム分析法」のうちイオン交換法(平成2年改訂) 測定器：ORTEC Alpha Duo 第三者機関(株)化研にて分析

3 測定結果

(1) 空間放射線

了空間線量率

測定年月	平成 25 年 10 月				平成 25 年 11 月				平成 25 年 12 月				
	空間線量率				空間線量率				空間線量率				
	測定値	平均値 (nGy/h)	最大値 (nGy/h)	測定時間 (h)	備考	平均値 (nGy/h)	最大値 (nGy/h)	測定時間 (h)	備考	平均値 (nGy/h)	最大値 (nGy/h)	測定時間 (h)	備考
No.	地点名												
1	MP-1	822	881	744		814	827	720		814	835	739	点検/5時間 (次測理由/時間)
2	MP-2	552	579	744		554	566	720		555	578	739	点検/5時間
3	MP-3	826	869	744		827	845	720		831	857	739	点検/5時間
4	MP-4	779	829	744		776	803	720		763	787	739	点検/5時間
5	MP-5	748	772	744		739	752	720		719	739	739	点検/5時間
6	MP-6	355	373	744		363	374	720		354	373	739	点検/5時間
7	MP-7	295	314	744		306	316	720		303	322	739	点検/5時間

イ 空間積算線量

測定期間		平成25年10月9日～平成26年1月16日			
No.	測定項目		積算線量 (mGy)	測定日数 (日)	備考
	地点名				
1	M	P	2.05 (1.86)	99	
2	M	P	1.18 (1.07)	99	
3	M	P	2.16 (1.96)	99	
4	M	P	1.66 (1.51)	99	
5	M	P	1.64 (1.49)	99	
6	M	P	0.80 (0.73)	99	
7	M	P	0.51 (0.46)	99	
8	富岡町 仏 濱	釜 田	1.33 (1.21)	99	
9	富岡町	富岡第一中学校	1.52 (1.38)	99	
10	富岡町	上の町社宅	3.91 (3.55)	99	
11	富岡町	上郡山清水	3.83 (3.48)	99	
12	富岡町	上郡山上郡	3.39 (3.08)	99	
13	榎葉町	上郡繁岡山根	1.43 (1.30)	99	
14	榎葉町	井出浄光東	1.23 (1.12)	99	
15	榎葉町	下郡繁岡一丁目	1.23 (1.12)	99	
16	富岡町	上郡山岩井戸	2.50 (2.27)	99	
17	榎葉町	井出八岩	0.89 (0.81)	99	
18	榎葉町	榎葉中学校	0.99 (0.90)	99	

(注) () 内は、90日換算値。

(2) 環境試料

ア 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能

No.	地点名	測定年月	全アルファ放射能				全ベータ放射能			
			平均値 (Bq/m ³)	最大値 (Bq/m ³)	測定時間 (h)	備考 (欠測理由/時間)	平均値 (Bq/m ³)	最大値 (Bq/m ³)	測定時間 (h)	備考 (欠測理由/時間)
1	M P - 1	平成25年10月	0.012	0.050	744		0.027	0.082	744	
		平成25年11月	0.017	0.068	720		0.034	0.11	720	
		平成25年12月	0.011	0.041	732	点検/12時間	0.025	0.067	732	点検/12時間
2	M P - 7	平成25年10月	0.012	0.060	744		0.027	0.089	744	
		平成25年11月	0.017	0.059	720		0.033	0.091	720	
		平成25年12月	0.011	0.047	744		0.025	0.075	744	

イ 大気浮遊じんの核種濃度

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)														
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce				
1	M P - 1	H25.10.1 ~ H25.10.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.024	0.055	ND	ND	
		H25.11.1 ~ H25.11.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.018	0.040	ND	ND
		H25.12.1 ~ H25.12.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	0.027	ND	ND
2	M P - 7	H25.10.1 ~ H25.10.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.021	0.036	ND	ND
		H25.11.1 ~ H25.11.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.016	0.035	ND	ND
		H25.12.1 ~ H25.12.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	0.029	ND	ND

(注) 「ND」は、検出限界未満。

添付資料

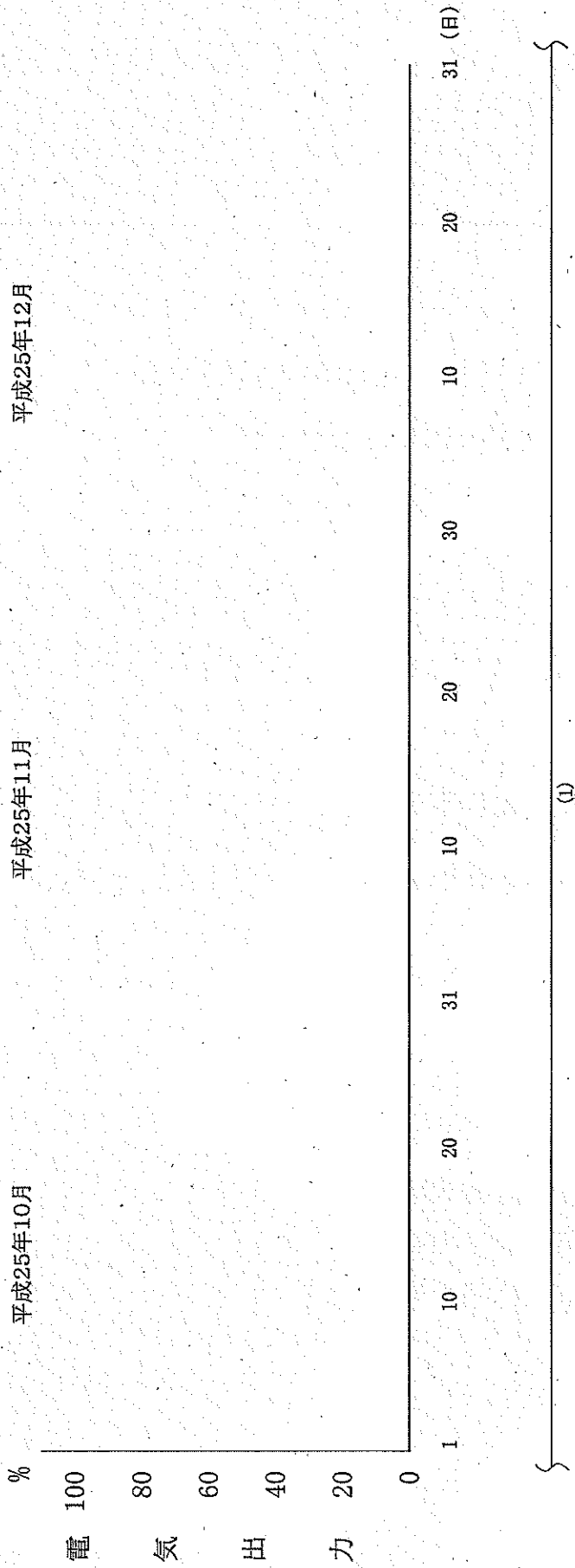
原子炉運転状況、放射性廃棄物管理状況
及び試料採取時の付帯データ

自 平成25年10月

至 平成25年12月

東京電力株式会社
福島第一原子力発電所
福島第二原子力発電所

福島第一原子力発電所 運転状況



1号機～4号機
廃止措置

5号機～6号機
(1) 3/11(平成22年度)～東北太平洋沖地震に伴う事故停止

記 事

1. 福島第一原子力発電所放射性廃棄物管理状況（平成25年度 第3四半期報）

(1) 気体廃棄物の放出量（1～4号機）

a. 1～4号機原子炉建屋及び1～3号機格納容器からの追加放出量

(単位：Bq)

	粒子状物質		備考
	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	
1～4号機合計※	分析中	分析中	「福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画」において、「1～4号機原子炉建屋及び1～3号機原子炉格納容器以外からの追加的放出は、極めて少ないと考えられる」と評価されていることから、1～4号機における気体廃棄物の放出量としては、1～4号機原子炉建屋及び1～3号機格納容器から放出される ¹³⁴ Cs及び ¹³⁷ Csを対象としている。 月1回以上の試料採取により得られた放射能濃度(Bq/cm ³)に排気設備風量又は風量推定値(m ³ /h)を乗ずることによって放出率(Bq/h)を求め、その放出率に報告対象期間の時間(h)を乗ずることによって、追加放出量を求めている。
内訳	1号機	分析中	
	2号機	分析中	
	3号機	分析中	
	4号機	分析中	
放出管理の目標値 (年間)	2.6 × 10 ¹¹	2.6 × 10 ¹¹	

(2) 放射性気体及び放射性液体廃棄物の放出量

a. 放射性気体廃棄物の放出量 (5・6号機)

(単位: Bq)

		全希ガス	^{131}I	全粒子状物質	^3H	備考
原子炉施設合計	排気筒 別内訳	分析中	分析中	分析中	分析中	放射性気体廃棄物の放出放射線量 (Bq) は、排気中の放射性物質の濃度 (Bq/cm ³) に排気量 (m ³) を乗じて求められている。 なお、放射性物質が検出されない場合は、放出放射線量 (Bq) の算出は実施せず「検出されず」と表示した。 検出されずとは、以下の濃度未満の場合をいう。 全希ガス: 2×10^{-2} (Bq/cm ³) ^{131}I : 7×10^{-9} (Bq/cm ³) 全粒子状物質: 3×10^{-7} (Bq/cm ³) (^{137}Cs で代表した) ^3H : 4×10^{-5} (Bq/cm ³)
	5, 6号機共用排気筒	分析中	分析中	分析中	分析中	
年間放出管理目標値		2.8×10^{15}	1.4×10^{11}	——	——	

b. 放射性液体廃棄物の放出量

(単位: Bq)

	全核種 (³ Hを除く)	核種別					
		⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I
原子炉施設合計	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
排水口 別内訳	1号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
	2号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
	3号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
	4号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
	5号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
	6号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
年間放出管理目標値	7.4×10^{10}						

(続き)

	核種別		³ H	備考
	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs		
原子炉施設合計	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
排水口 別内訳	1号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	
	2号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	
	3号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	
	4号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	
	5号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	
	6号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	
年間放出管理目標値			7.4×10^{12}	

2. 試料採取時の付帯データ

(ア) 海水

採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	pH	Cl ⁻ (%)
第一 (発) 取水口	H25. 11. 28	12. 0	12. 7	8. 0	18. 5
第一 (発) 南放水口	H25. 11. 28	12. 3	13. 2	7. 7	18. 3
第一 (発) 北放水口	H25. 11. 28	12. 3	12. 8	7. 8	18. 5

平成25年度月別降水データ表

福島第一原子力発電所

月	日数 (d)	時間 (h)	降水量 (mm)
H25.4	14	80	198.5
5	8	31	81.0
6	16	59	75.0
7	22	99	186.5
8	12	43	64.0
9	11	53	112.5
10	14	110	433.0
11	5	12	14.5
12	4	32	66.0
H26.1			
2			
3			
合計	106	519	1231.0

環境試料測定日

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日	
			全α・β放射能	³ H
大気浮遊じん	M P - 3	H25.10.1 ~H25.10.31	H25.11.12	/
		H25.11.1 ~H25.11.30	H25.12.11	/
		H25.12.1 ~H25.12.31	H26.1.16	/
海	M P - 8	H25.10.1 ~H25.10.31	H25.11.12	/
		H25.11.1 ~H25.11.30	H25.12.10	/
		H25.12.1 ~H25.12.31	H26.1.16	/

(注)「/」は測定対象外。

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日					
			³ H	⁹⁰ Sr	²³⁸ Pu	^{239/240} Pu	²⁴¹ Am	²⁴⁴ Cm
*1 陸	敷地内 大熊町野上 大熊町熊川 双葉町郡山	H25.8.8	H25.12.16	H25.12.12	H25.12.12	H25.12.22	H25.12.22	
		H25.8.8	H25.12.17	H25.12.20	H25.12.20	H25.12.22	H25.12.22	
		H25.8.8	H25.12.13	H25.12.15	H25.12.15	H25.12.21	H25.12.21	
		H25.8.8	H25.12.12	H25.12.19	H25.12.19	H25.12.23	H25.12.23	
*2 陸	敷地内 大熊町野上 大熊町熊川 双葉町郡山	H25.12.24	/	/	/	/	/	
		H25.12.24	/	/	/	/	/	
		H25.12.24	/	/	/	/	/	
		H25.12.24	/	/	/	/	/	
海	取水口 水南放水口 北放水口 南放水口 海底沈積物 松葉	H25.11.29	*2	/	/	/	/	
		H25.11.28	*2	/	/	/	/	
		H25.11.28	*2	/	/	/	/	
		H25.11.28	*2	/	/	/	/	
*2 陸	M P - 3 付近 M P - 8 付近	H25.12.10	*2	/	/	/	/	
		H25.12.10	*2	/	/	/	/	
		H25.12.20	*2	/	/	/	/	
		H25.12.20	*2	/	/	/	/	

(注)「/」は測定対象外。

*1 γ線については、発電所の周辺の環境放射能測定結果(平成25年度第2四半期)にて報告済み。

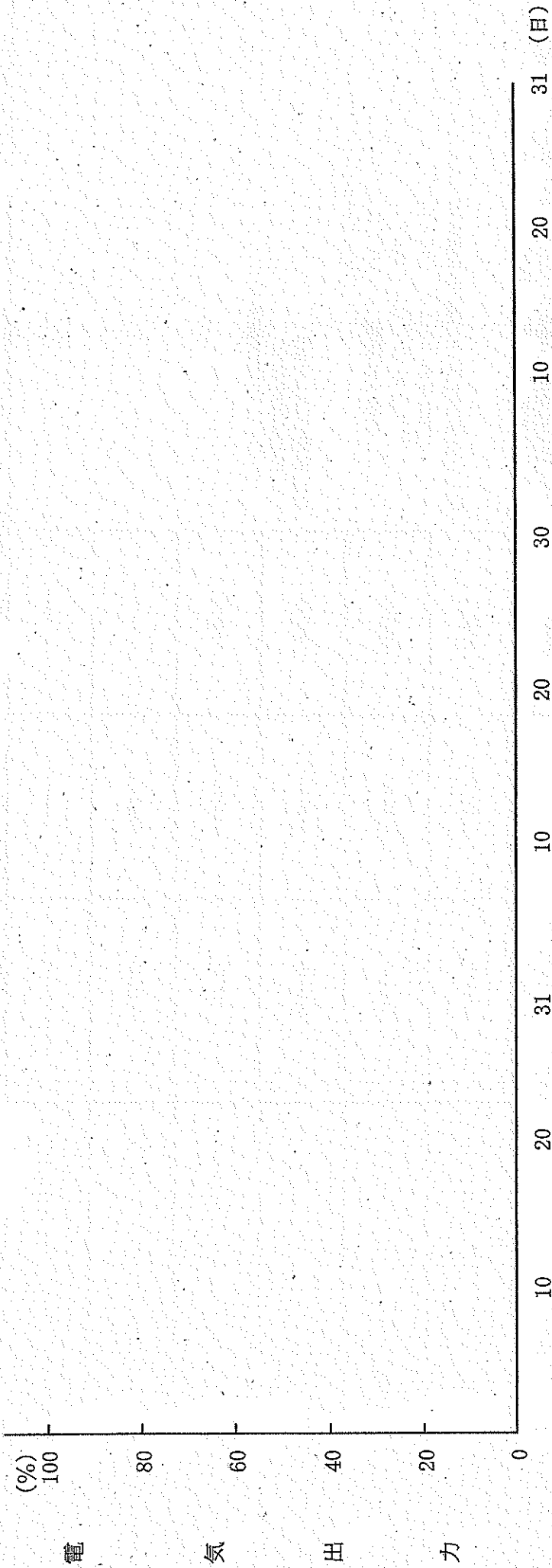
*2 測定中

福島第二原子力発電所 運転状況

平成25年10月

平成25年11月

平成25年12月



記 1号機、2号機、3号機、4号機

(1) H23. 3/11 (平成22年度) ~

東北太平洋沖地震に伴う事故停止

事

放射性廃棄物管理状況

福島第二原子力発電所(平成25年度,第3四半期)

1. 放射性気体廃棄物の放出量

		(単位:Bq)					備考
		全希ガス	¹³¹ I	全粒子状物質	³ H		
原子炉施設合計		分析中	分析中	分析中	分析中	放射性気体廃棄物の放出放射能(Bq)は,排気中の放射性物質の濃度(Bq/cm ³)に排気量(m ³)を乗じて求められている。 なお,放射性物質が検出されない場合は,放出放射能(Bq)の算出は実施せず”検出されず”と表示した。 検出されずとは,以下の濃度未満の場合をいう。 全希ガス: 2×10^{-2} (Bq/cm ³) ¹³¹ I: 7×10^{-9} (Bq/cm ³) 全粒子状物質: 4×10^{-9} (Bq/cm ³) (⁶⁰ Coで代表した)	
	1号機排気筒	分析中	分析中	分析中	分析中		
	2号機排気筒	分析中	分析中	分析中	分析中		
	3号機排気筒	分析中	分析中	分析中	分析中		
	4号機排気筒	分析中	分析中	分析中	分析中		
排気筒別内訳	廃棄物処理建屋換気系排気筒	分析中	分析中	分析中	分析中	その他排気筒(内訳) ・焼却設備排気筒 ・サイトバンカ建屋排気筒	
	その他排気筒	—	分析中	分析中	—		
年間放出管理目標値※1		5.5×10^{15}	2.3×10^{11}	—	—		

※1 放出管理目標値は「発電所用軽水炉施設周辺の線量目標値に関する指針(原子力委員会決定)」に定められた公衆の線量目標値(50 μSv/年)を下回るように設定した年間の放出放射能である。

(単位: Bq)

2. 放射性液体廃棄物の放出量

		核 種 別						
全核種 (³ Hを除く)		⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	
原子炉施設合計	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	
排水口 別内訳	1号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
	2号機排水口	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	
	3号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
	4号機排水口	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	
年間放出管理目標値 ^{*1}	1.4×10 ¹¹							

(続き)

		核 種 別		³ H	備 考
		¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs		
原子炉施設合計	分析中	分析中	分析中	分析中	放射性液体廃棄物の放出放射能(Bq)は、排水中の放射性物質の濃度(Bq/cm ³)に排水量(m ³)を乗じて求めている。 なお、放射性物質が検出されない場合は、放出放射能(Bq)の算出は実施せず”検出されず”と表示した。 検出されずとは、以下の濃度未満の場合をいう。 全核種(³ Hを除く): 2×10 ⁻² (Bq/cm ³) (⁶⁰ Coで代表した)
排水口 別内訳	1号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
	2号機排水口	分析中	分析中	分析中	
	3号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
	4号機排水口	分析中	分析中	分析中	
年間放出管理目標値 ^{*1}				1.4×10 ¹³ *2	

*1 放出管理目標値は「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に関する指針(原子力委員会決定)」に定められた公衆の線量目標値(50 μSv/年)を下回るように設定した年間の放出放射能である。

*2 トリチウムについては、放出管理の年間基準値を記載。
トリチウムは公衆への影響が比較的小さく、上記指針に定められた線量目標値がないことから、放出管理目標値の100倍の値を年間の放出放射能として設定したものである。

試料採取時の付帯データ

(ア) 海水

採取地点名	採取年月日	気温(°C)	水温(°C)	pH	Cl ⁻ (%)
第二(発)取水口	H25.11.20	15.7	14.7	8.0	18.4
第二(発)南放水口	H25.11.20	10.3	14.9	8.0	18.5
第二(発)北放水口	H25.11.20	10.9	15.3	8.0	18.5

平成25年度月別降水データ表

月	日数(d)	時間(h)	降水量(mm)
H25.4	14	91	243.0
5	9	34	58.5
6	14	55	88.0
7	19	90	228.5
8	11	42	100.5
9	11	53	104.0
10	12	112	447.0
11	5	14	15.5
12	4	32	62.5
合計	99	523	1347.5

環境試料測定日

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日		
			全α放射能	β能	γ
大気浮遊じん	M P - 1	H25.10.1 ~H25.10.31	連続	H25.11.6	/
		H25.11.1 ~H25.11.30	連続	H25.12.9	/
		H25.12.1 ~H25.12.31	連続	H26.1.10	/
		H25.10.1 ~H25.10.31	連続	H25.11.6	/
M P - 7	M P - 7	H25.11.1 ~H25.11.30	連続	H25.12.9	/
		H25.12.1 ~H25.12.31	連続	H26.1.8	/

(注)「/」は測定対象外。

試料名	採取地点名	採取年月日	γ	³ H	⁹⁰ Sr	²³⁸ Pu	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	²⁴¹ Am	²⁴⁴ Cm	
										測定年月日
*1 陸	敷地内 楮葉町波倉 富岡町仏 富岡町下郡山	H25.8.8 H25.8.8 H25.8.8 H25.8.8	H25.9.11 H25.9.11 H25.9.11 H25.9.11	/	H25.12.11	H25.12.19	H25.12.19	H25.12.19	H25.12.20	H25.12.20
					H25.12.16	H25.12.11	H25.12.4	H25.12.4	H25.12.23	H25.12.23
					H25.12.11	H25.12.11	H25.12.4	H25.12.4	H25.12.24	H25.12.24
					H25.12.12	H25.12.4	H25.12.4	H25.12.21	H25.12.21	
*2 陸	敷地内 楮葉町波倉 富岡町仏 富岡町下郡山	H25.12.11 H25.12.11 H25.12.11 H25.12.11	/	/	/	/	/	/	/	
					/	/	/	/	/	
					/	/	/	/	/	
					/	/	/	/	/	
海	取水口 南放水口 北放水口	H25.11.20 H25.11.20 H25.11.20	/	H25.11.29	*2	/	/	/	/	
				H25.11.22	*2	/	/	/		
				H25.11.21	*2	/	/	/		
海底沈植物	南放水口 北放水口	H25.11.20 H25.11.20	/	/	/	/	/	/	/	
				/	/	/	/	/		
*2 陸	敷地の南境界付近 敷地の北境界付近	H25.12.9 H25.12.9	/	/	/	/	/	/	/	
				/	/	/	/	/		

(注)「/」は測定対象外。

*1 γ線については、発電所の周辺の環境放射能測定結果（平成25年度第2四半期）にて報告済み。

*2 測定中

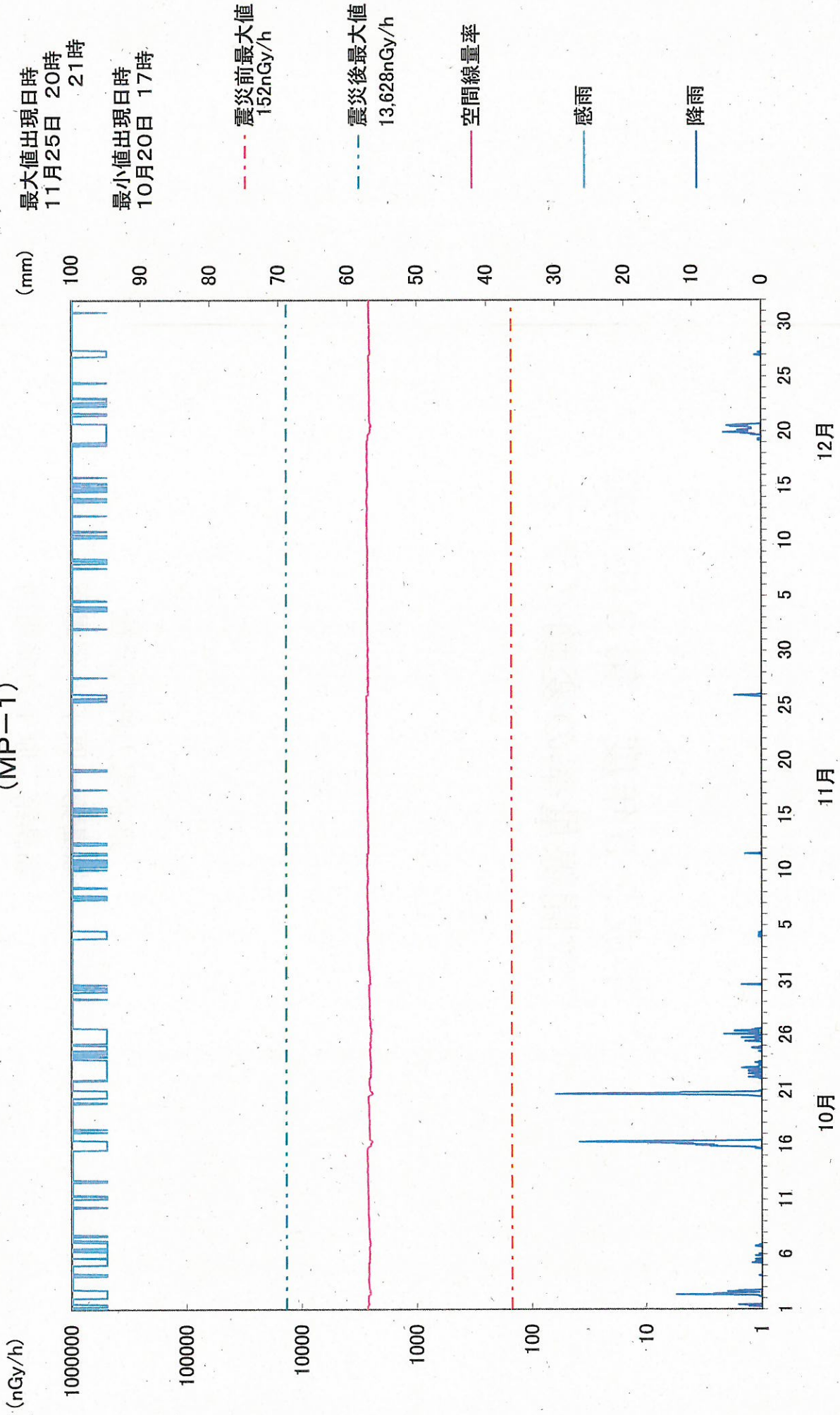
平成25年度 第3四半期
空間線量率の変動グラフ

東京電力株式会社
福島第一原子力発電所
福島第二原子力発電所

空間線量率の変動グラフ

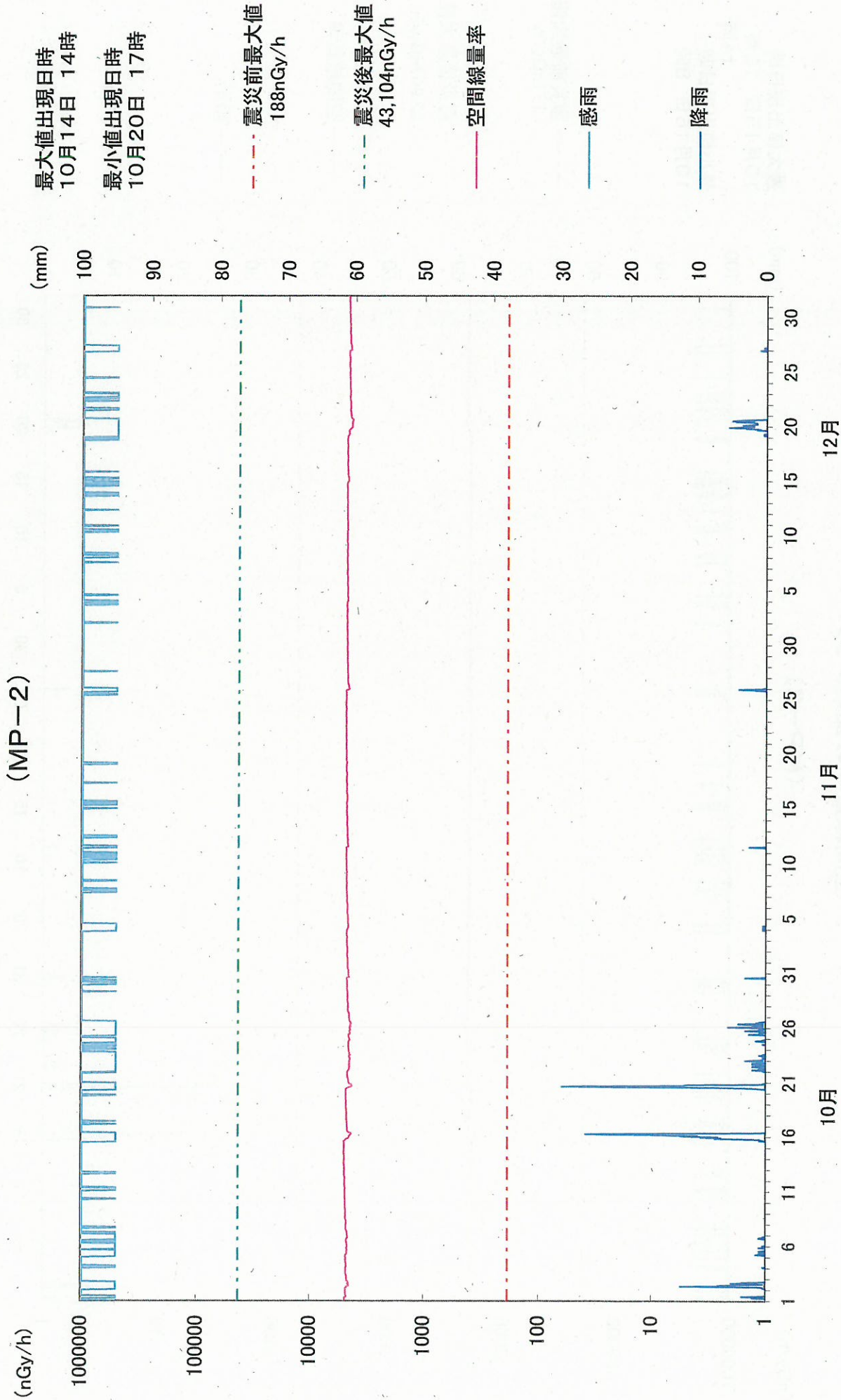
福島第一原子力発電所

(MP-1)



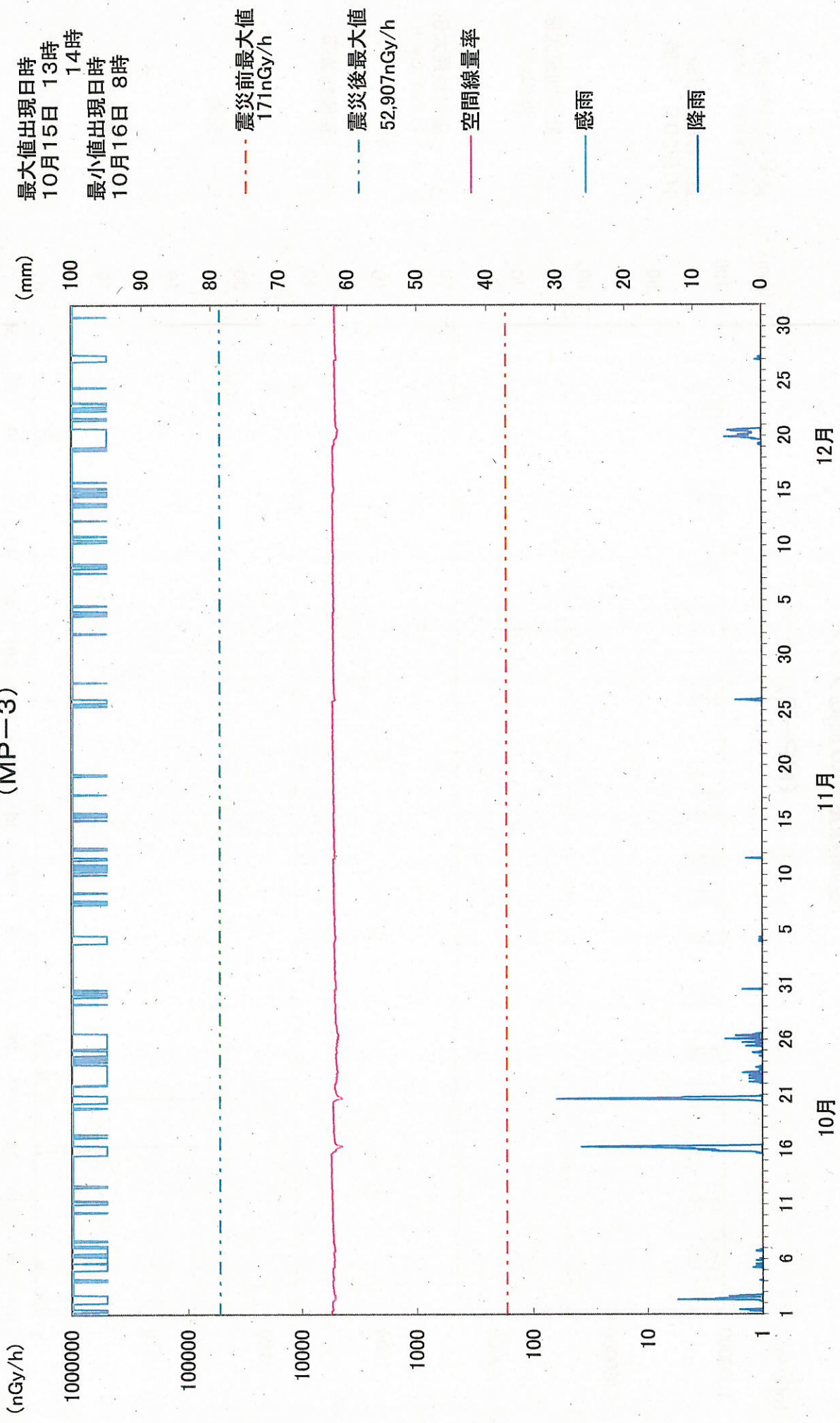
空間線量率の変動グラフ

福島第一原子力発電所



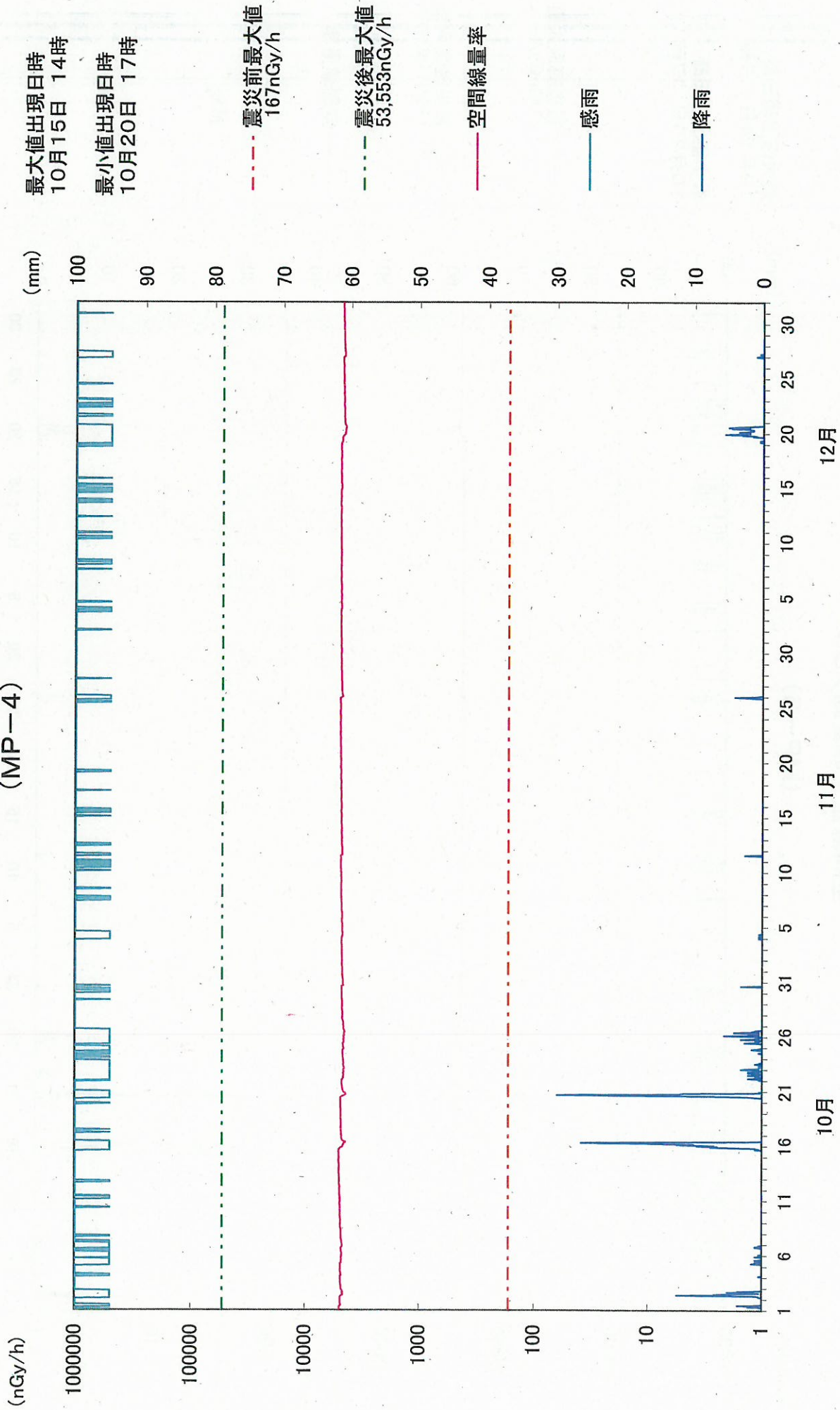
空間線量率の変動グラフ

(MP-3)



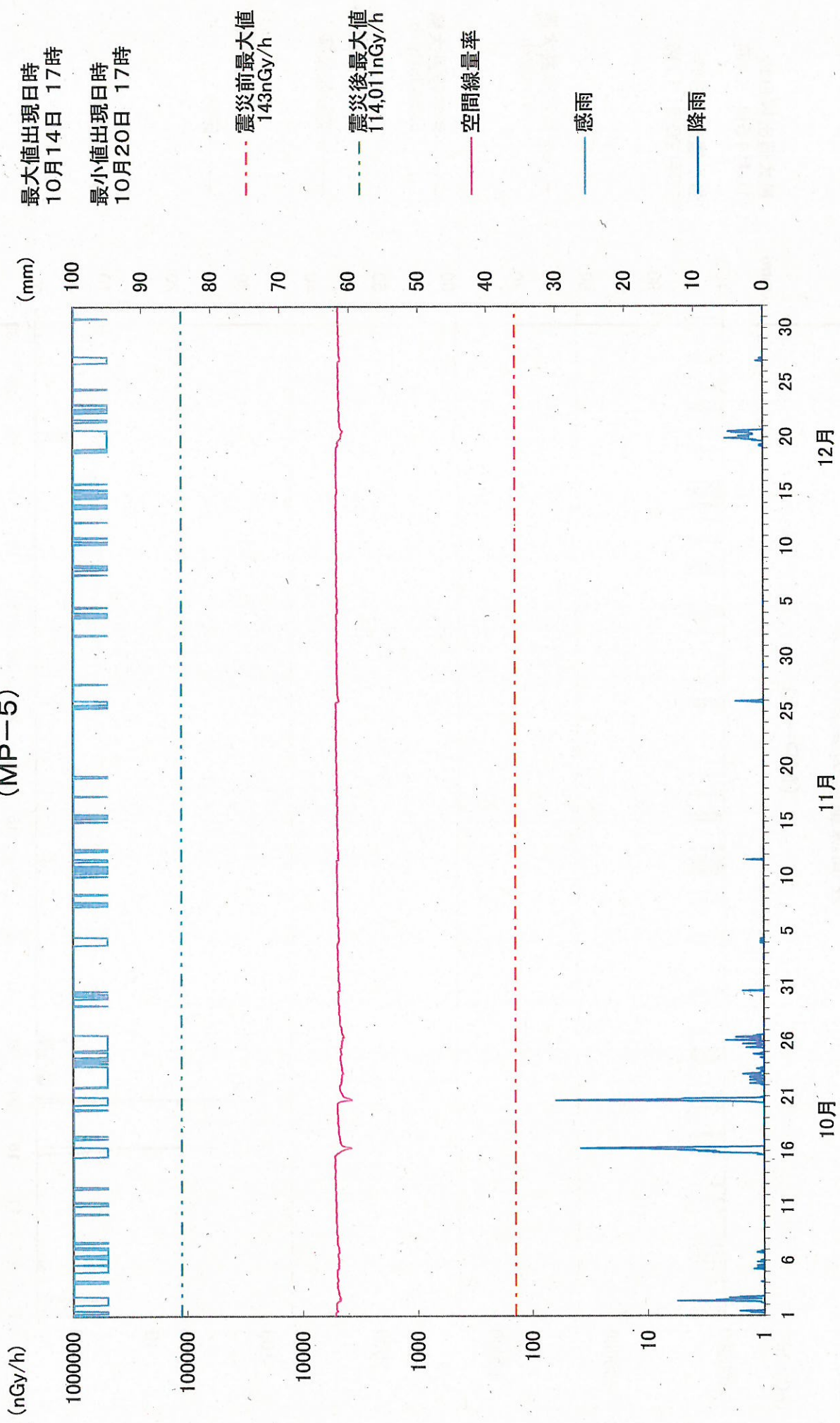
空間線量率の変動グラフ

(MP-4)



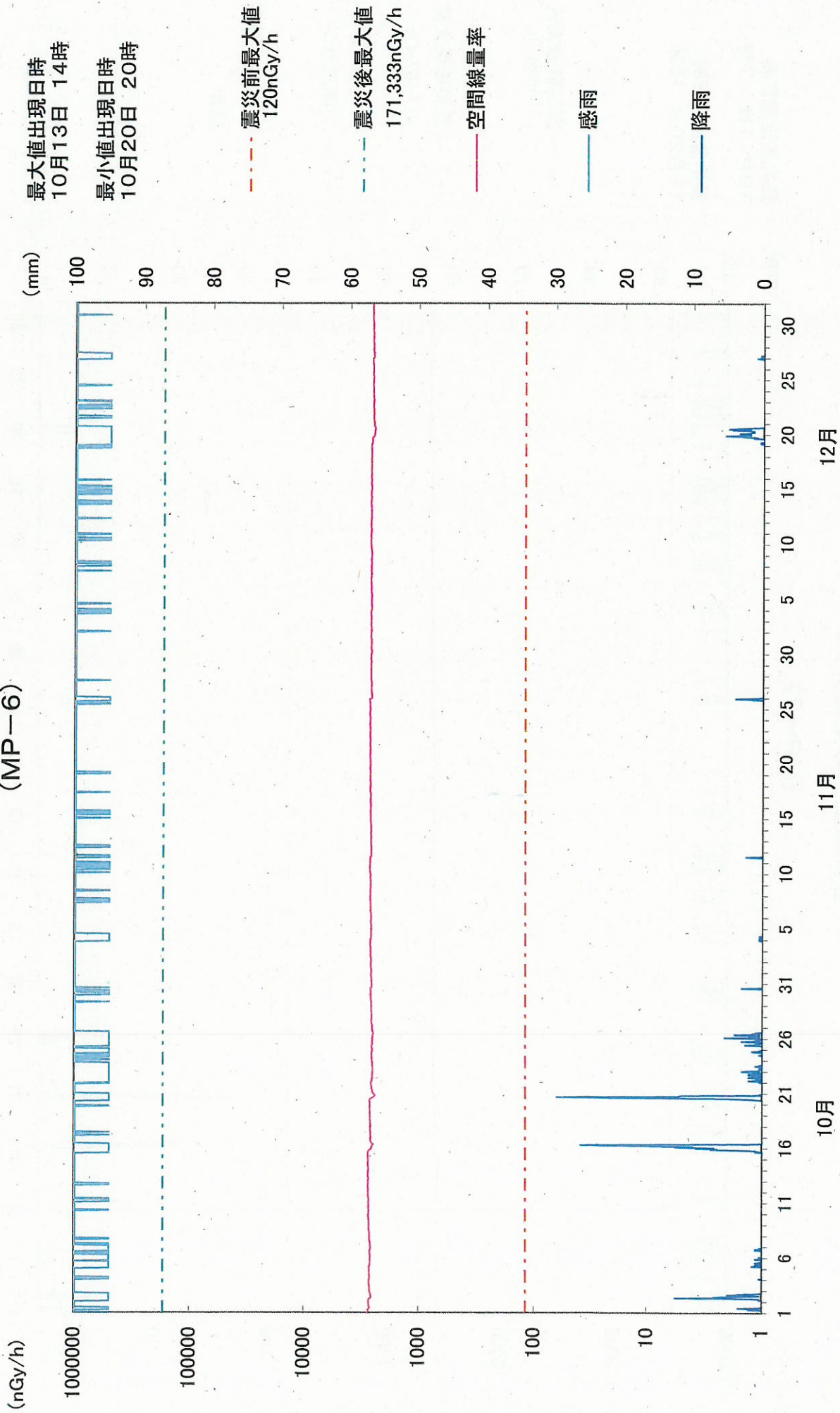
空間線量率の変動グラフ

(MP-5)



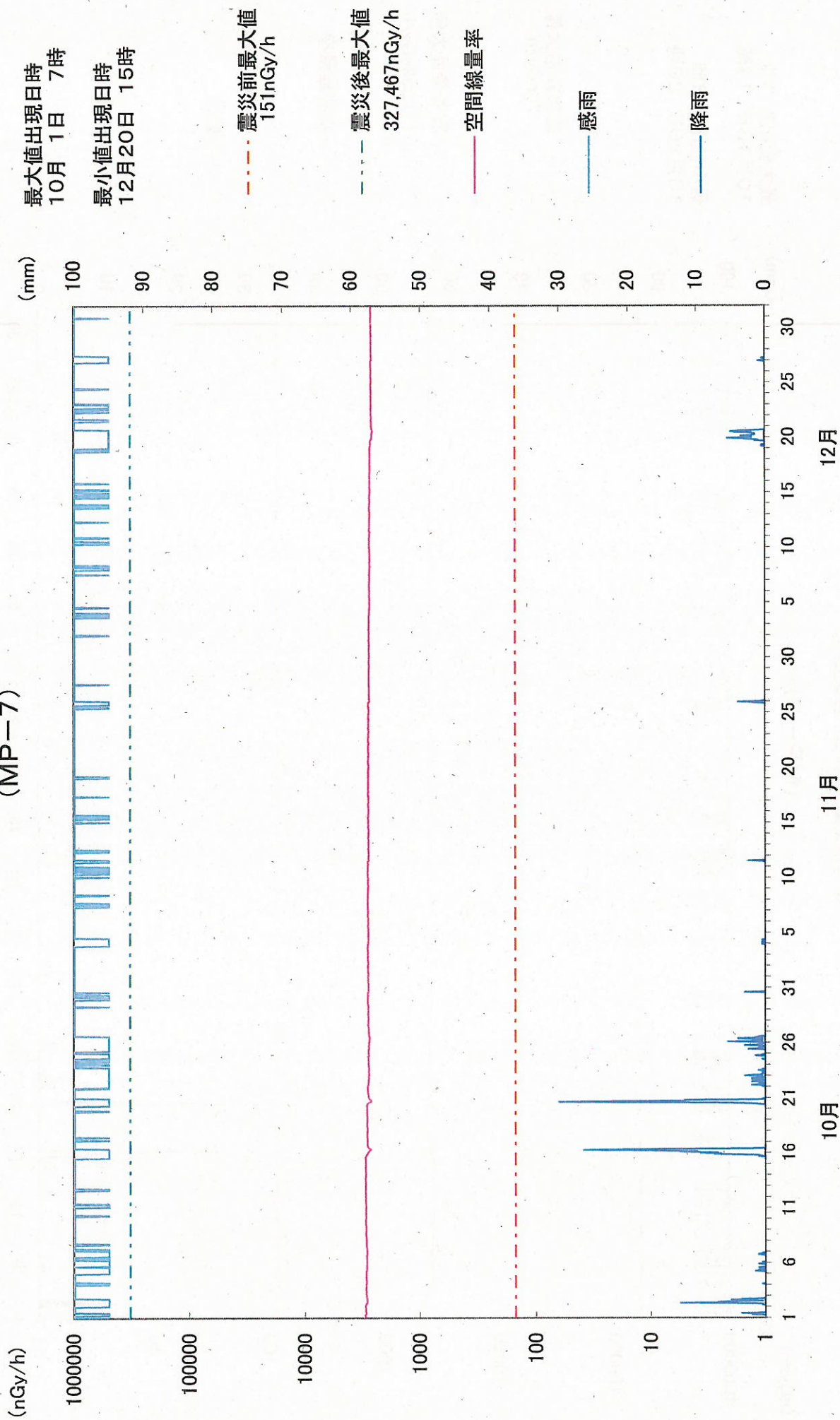
空間線量率の変動グラフ

(MP-6)



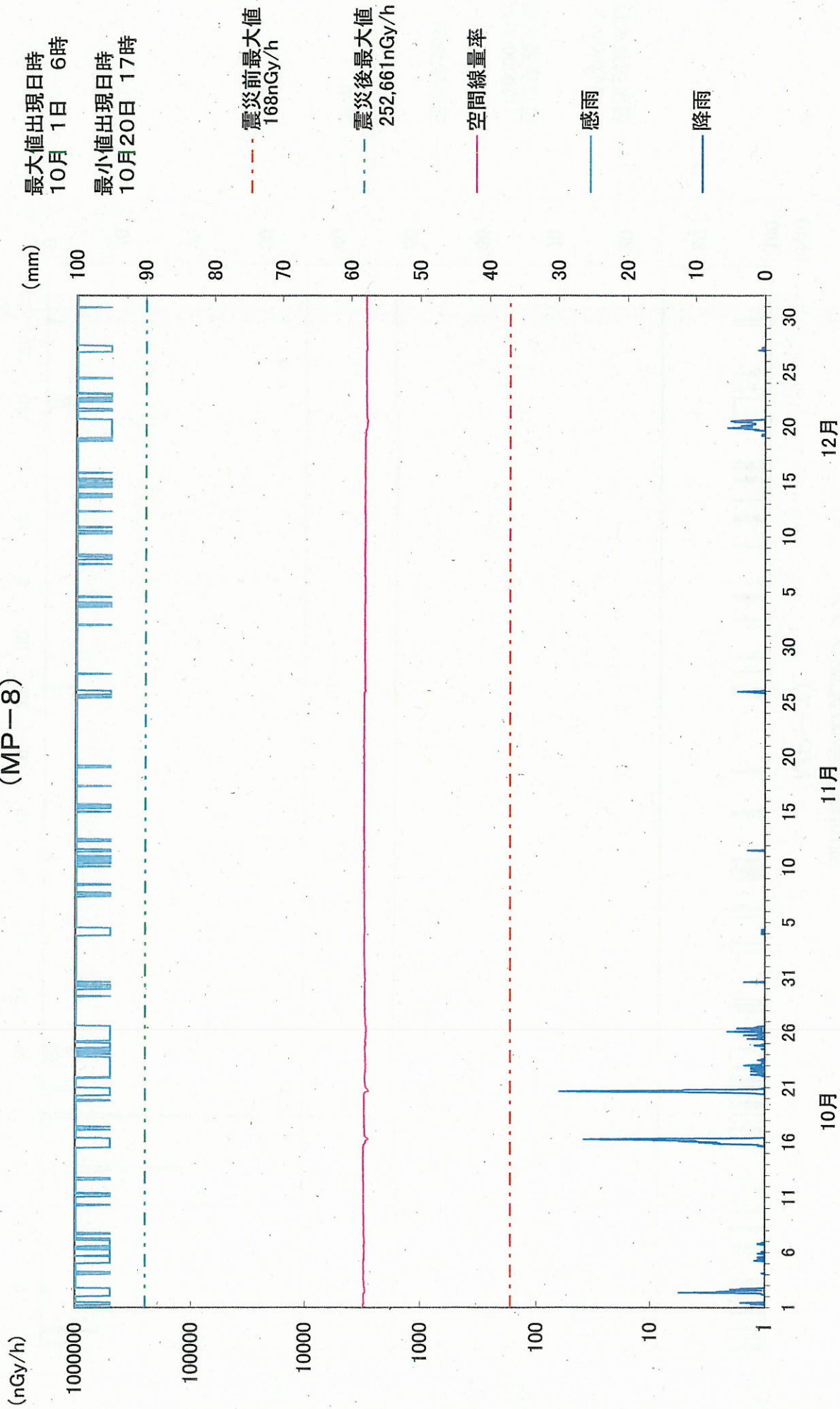
空間線量率の変動グラフ

(MP-7)



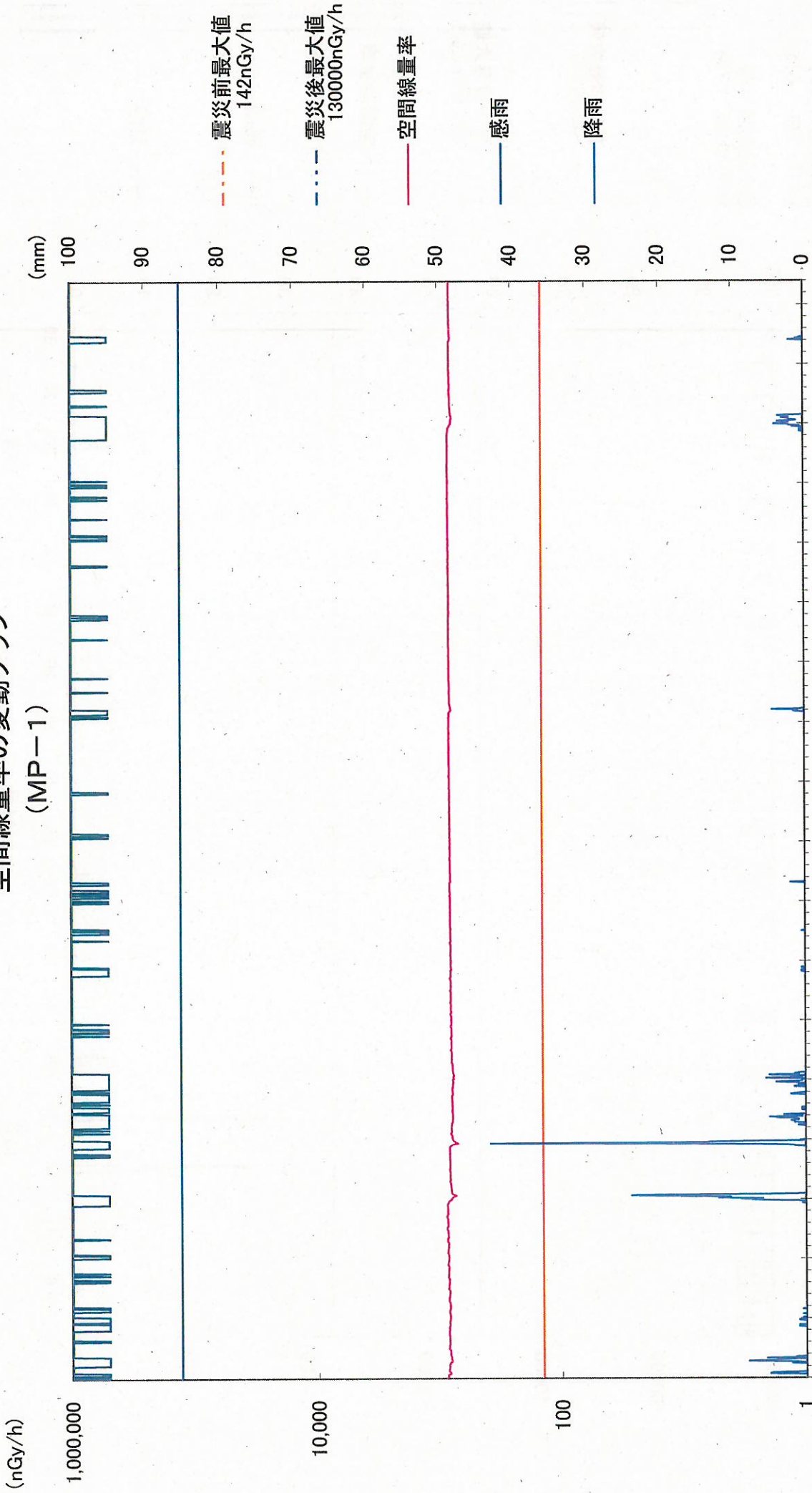
空間線量率の変動グラフ

(MP-8)



空間線量率の変動グラフ

(MP-1)



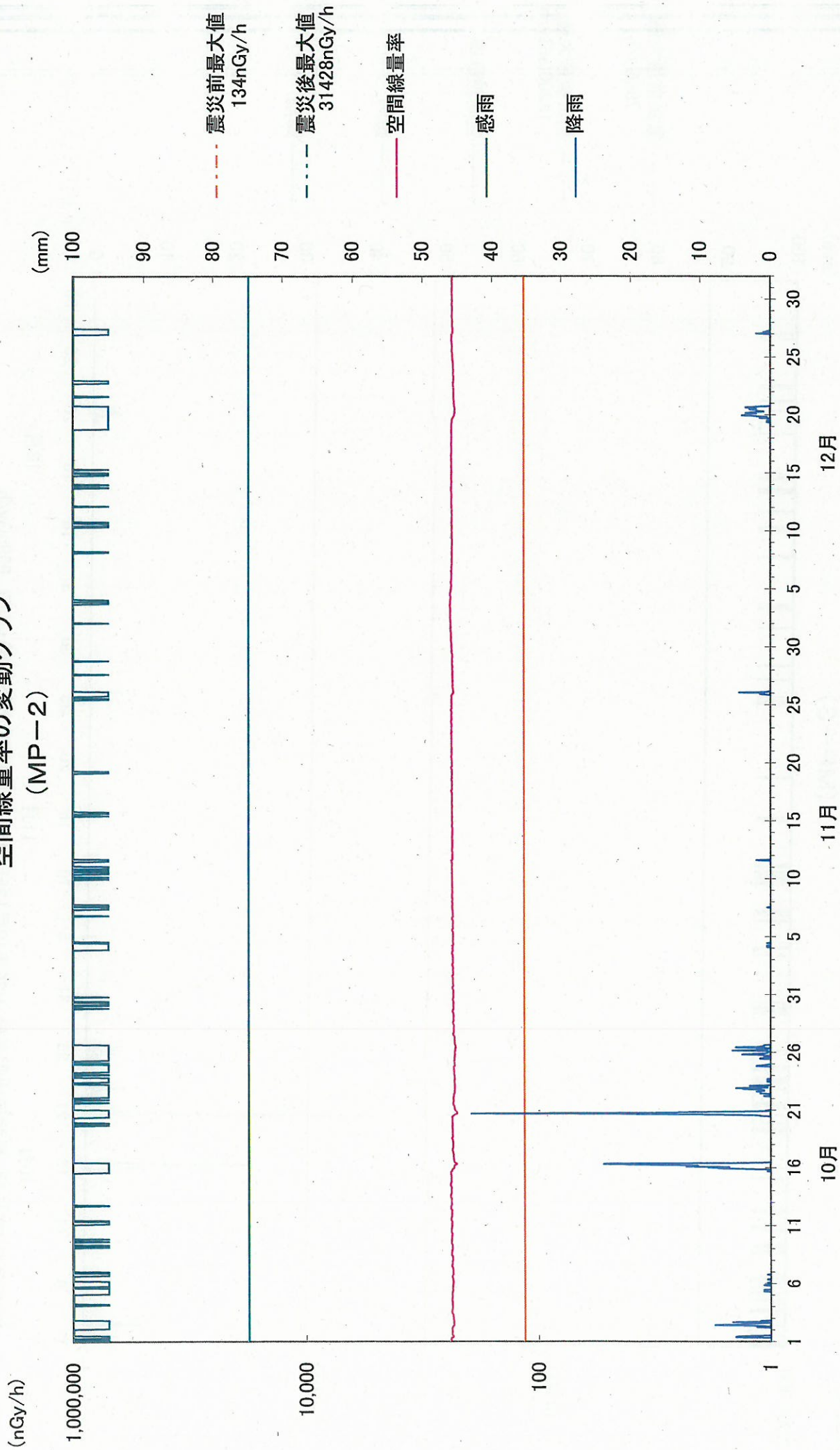
12月

11月

10月

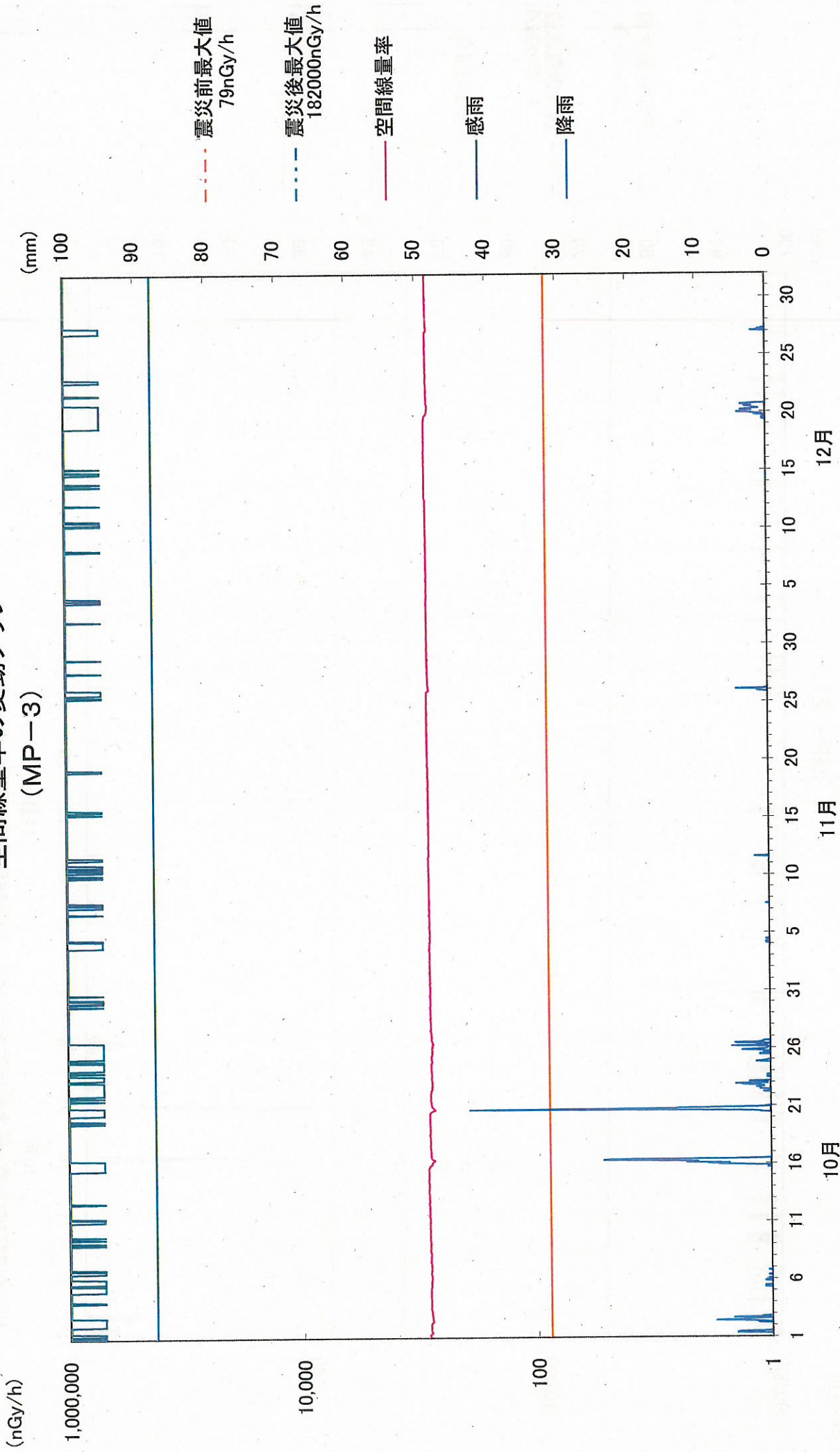
H25年度第3四半期 最大値出現日時:H25年10月14日13時 881nGy/h
 H25年度第3四半期 最小値出現日時:H25年10月20日17時 707nGy/h

空間線量率の変動グラフ
(MP-2)

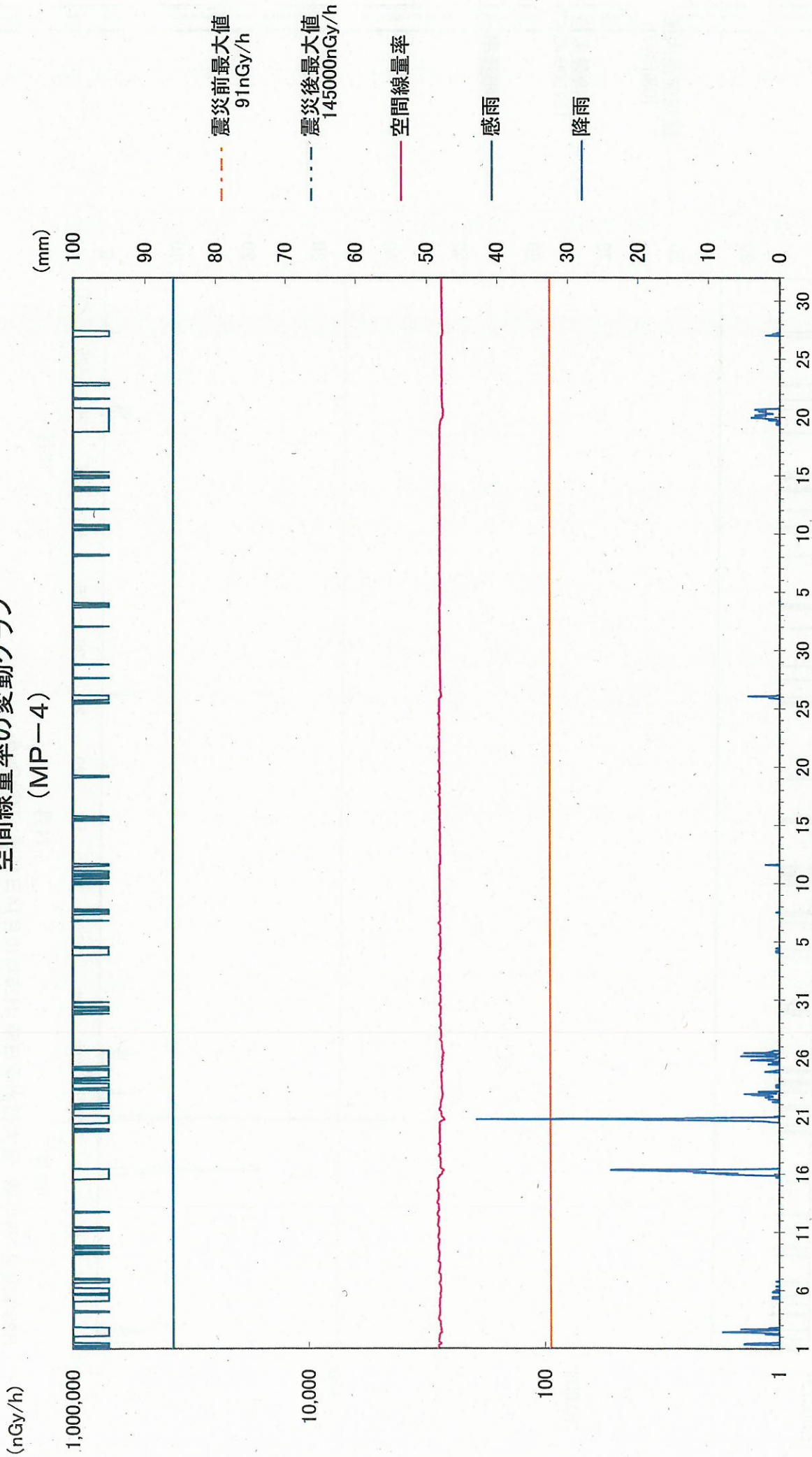


H25年度第3四半期 最大値出現日時:H25年10月14日12時 579nGy/h
 H25年度第3四半期 最小値出現日時:H25年10月20日17時 504nGy/h

空間線量率の変動グラフ
(MP-3)

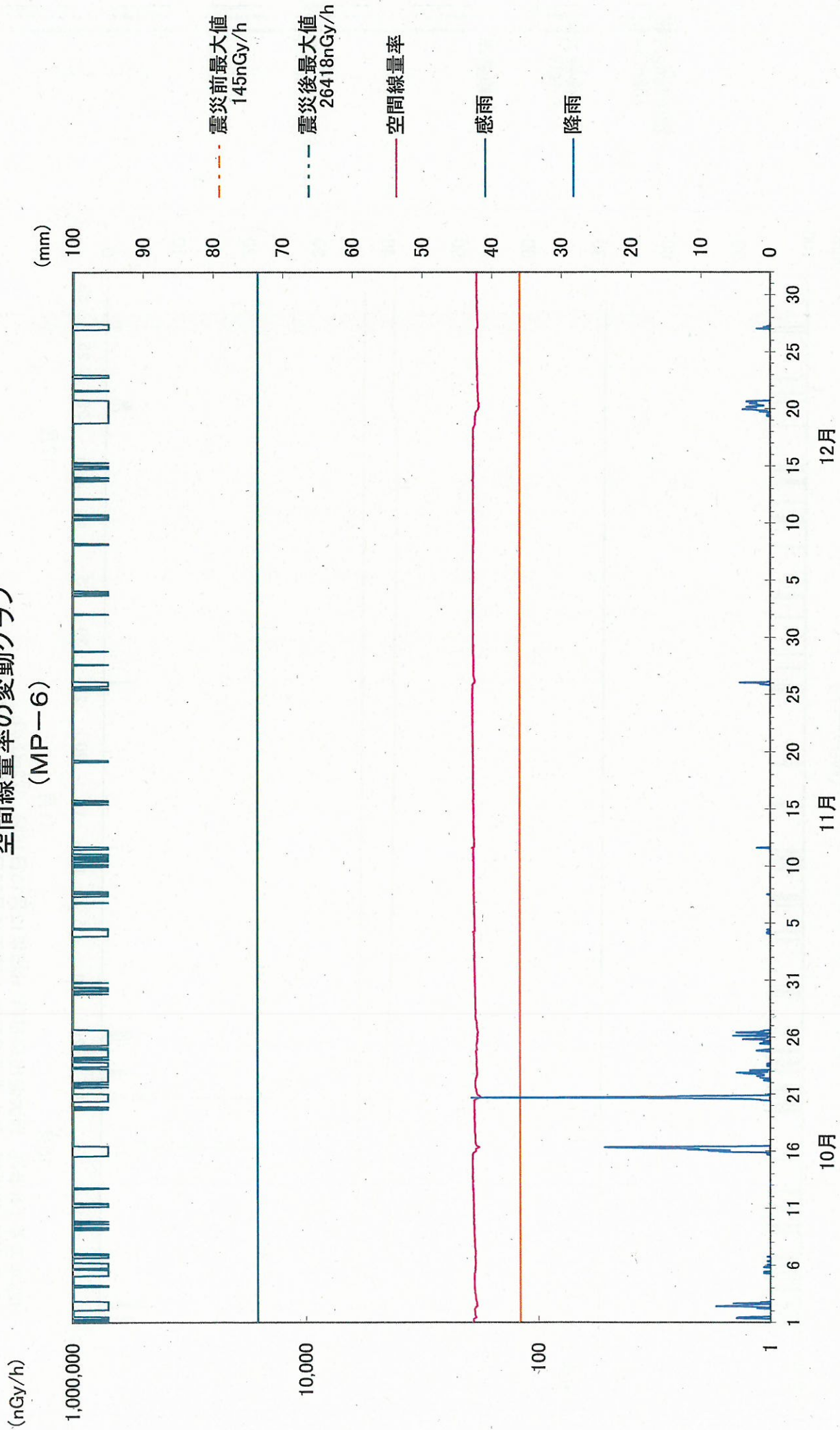


空間線量率の変動グラフ
(MP-4)



11月
10月
H25年度第3四半期 最大値出現日時：H25年10月14日13時 829nGy/h
H25年度第3四半期 最小値出現日時：H25年10月20日16時 710nGy/h

空間線量率の変動グラフ
(MP-6)



H25年度第3四半期 最大値出現日時:H25年11月11日14時 374nGy/h
 H25年度第3四半期 最小値出現日時:H25年10月20日17時 315nGy/h

空間線量率の変動グラフ (MP-7)

